

アセンションBOOK 29

ファーストコンタクト5 2016年11月

ファーストコンタクト5 地球に降り立った闇の創造主達



地球に降り立った闇の創造主達 目次

- 第1章 ダークピープルの襲来と宇宙連合の混乱
- 第2章 第2評議会を狂わせた創造主戦争の闇
- 第3章 第3評議会に隠された巨大な闇の創造主
- 第4章 「道を生みだす創造主」が地上に仕掛けた罠
- 第5章 地上に隠された第3評議会の闇の創造主達
- 第6章 これから行われる地球の分離について
- 資料 宇宙連合の組織について

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ 光の世界へ <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 ダークピープルの襲来と宇宙連合の混乱

PART1 スーパー・ダークピープルの襲来

今回のシリーズは、9月の後半、オリオン星人とグレシャッド星人の策略により、スーパー・ダークピープルと呼んでいる存在が地球に数多く襲来したときから始まります。

前回のシリーズまではこの話を伏せていたのですが、私達が光を持つ人々の移送を急いで行ったのは、このスーパー・ダークピープルの襲来によるところが非常に大きかったのです。

彼等は今までのダークピープルとはけた違いに大きな能力と迅速な行動力を持っていました。9月になって姿を現してきた宇宙連合に対抗するために、オリオン星人から呼び寄せられた存在のようです。

スーパー・ダークピープルはいち早く人と一体化し、スマホやITなどの様々な機械を利用して地球に広がっていったのです。

彼等が広がっていく速度と人々をコントロールする能力には、私達も驚きました。

私達は、すぐに地球のゲートを閉ざし、人と一体化していないスーパー・ダークピープルを、創造主にお願いして光に返しましたが、私達が気付いた時には、かなりの数のスーパー・ダークピープルが地球人と一体化して、光に返す事ができない状態になっていました。

彼等は、地球人とひとつになれば、世界を分離する以外に、私達が手出しできない事をあらかじめ知っていたのです。

スーパー・ダークピープルは、人々と一体化すると共に、光を持つ人々に対しての攻撃を激化させていきました。

9月25日のお昼頃、アシュタールのエレナさんからの報告が来ました。

「TAKESHIさん、突然地球に入ってきたスーパー・ダークピープルによって、私達スターピープルも大変な苦難を強いられています。

彼等は、私達よりもはるかに強い力と多彩な能力を持っていますので、私達の力では、地球の人々を守る事ができなくなっています。」

「エレナさん、彼等はスマホやITなどを使ってどんどん地球人と一体化しているようですが、

どのような進行状況ですか。」

「彼等はまず、オリオン星人と一体化している人達の中に入り、その人達を利用して、そのほかの人々の中にも入り込んでいます。

もうしばらくすると地球の支配権はオリオン人からスーパー・ダークピープルに移るでしょう。

グレシャッド達は、余分な争いを避ける為にスーパー・ダークピープルの前から退却しているようです。

彼等はやがて、自分達さえも、スーパー・ダークピープルから支配をうけるようになりますので、このスーパー・ダークピープルを呼び寄せた事を後悔すると思います。」

「そうですね、しかし、これまでオリオン人やグレシャッドに対しても随分てこずってきましたが、それ以上の存在が現われたとすると、私達も手の打ちようがないかもしれませんね。」

「問題はそこなのです。

彼らはすでに光を持つ人々の光を奪い取り傷つける行動に出始めましたので、宇宙連合は光ある人々の中でも体力が弱い人、病気やダークピープル達によって傷付けられている人達の緊急避難を決定しました。

彼等を新しくできたばかりの光の地球に 10 月 3 日までに移送する事に全力を投入する事にしたので。」

私は、宇宙連合の第 1 評議会の決定を聞いて、とても不安になりました。

「TAKESHI さん、スーパー・ダークピープル達は、光を持った地球人だけでなく、宇宙連合の第 1 評議会のスターピープル達に対しても攻撃を行い始めたのです。

スーパー・ダークピープルは、第 1 評議会のスターピープルよりもはるかに強い力を持っている事が分かりましたので、第 1 評議会のスターピープルでは到底かないません。

守備力が弱いスターピープル達は、彼等に捕まる前に光の地球に撤退させます。

そして、彼等に対抗するために第 2 評議会のスターピープルであるロッド星人を中心とした、新たな体制に変更されます。」

私達の横にいたロッド星人も話に加わります。

「TAKESHI さん達にもスーパー・ダークピープルからの攻撃が予想されますので、私達を中心に第 2 評議会の守備隊が身辺警護に入ります。

TAKESHI さん達も 10 月 3 日に光の地球へ転送する予定になっていますので、どうかそれまでうまく彼等の攻撃をかわしてください。」

その頃の私は急性膵炎のための治療を終え、1 週間前に退院したばかりで決して体調も良くありませんでした。

しかし、自宅に帰って養生しようとしても、不思議な事に入院中よりも体調が悪くなる日々が続いていたのです。

食事や温泉に行くために外出している時は良いのですが、家にはいると急に体が重くなり、頭痛がしたり冷汗が流れて気分が悪くなるのです。

ロッド星人に調べてもらおうと、スーパー・ダークピープル達からの攻撃が私達にも始まり、私達の家がターゲットされているようです。

私達が自宅にはいるとオリオン星人やスーパー・ダークピープルのエネルギーが私達を襲い、体調が悪くなる事が分かりました。

私達は、自宅に帰れなくなり、スーパー・ダークピープルから逃げるように転々とホテルを変えながら、彼らの攻撃から逃げていました。

そして、私達が光の地球に転送される予定の 10 月 3 日が来ました。

スーパー・ダークピープルから逃げるようで決して気持ちが良いものではありませんでしたが、このままでは、サイキックアタックによって、心も体も大変な傷を負ってしまいます。

私達は、3 日の深夜に転送される事を期待してホテルのベッドにもぐりこみます。

しかし、朝、目が覚めると同じホテルの部屋にいます。

私達は転送されていない事を不思議に思い、転送の責任者であるアシュタールのエレナさん呼び出しました。

「エレナさん、どうしたのですか、3 日の深夜に私達を転送する予定だったのではないですか。」と尋ねました。

エレナさんは非常に困惑したような表情で答えます。

「私達は、TAKESHI さんの家族を 3 日の深夜に光の地球に避難させる予定で準備していたのですが、第 1 評議会の創造主から、TAKESHI さん達の移送の許可が出なかったのです。

私達が、その理由を追及したところ、第 1 評議会は、TAKESHI さん達は地球に残り、地球の人達を 1 人でも多く救うように指示を変更したと伝えられました。」

私は自宅がダークピープル達からターゲットにされているために、自宅に帰る事ができず、ホテルを転々としているのに、一体これ以上何をしろ、というのでしょうか。

「実は TAKESHI さんには、言っていない事があるのですが、第1評議会のスターピープルはスーパー・ダークピープルの戦力を調べる為に、TAKESHI さんへの攻撃を完全に防御しないように命令を受けていたのです。

そして TAKESHI さんの自宅に作られたオリオン人達のゲートもそのままにしておくように合わせて指示がありましたが、まだ体調が悪い TAKESHI さんに、スーパー・ダークピープル達からの攻撃がこれ以上行われると、TAKESHI さんの生命にかかわる事態になってしまいます。

第1評議会のスターピープル達は、第1評議会の決定に全員反対して評議会の指示に従わずに TAKESHI さん達を全力で守る事に決定したのです。」

エレナさんが、私に対して大変申し訳ない、という顔をして説明します。

ロッド星人もエレナさん達の苦悶を理解するように言いました。

「私達から見ても、今回の第1評議会の決定はおかしいと思います。

私は、第2評議会のスターピープルですから、絶対に第1評議会の決定に従わなければならないという事はありません。

今回襲来してきたスーパー・ダークピープルは、おそらく第2評議会のスターピープルと同格の力を持っているので、どのような経路で地球にやってきたか、私達は独自に調査しています。

しかし、今でも体調が悪い TAKESHI さんが、スーパー・ダークピープルの攻撃をうけたら危険ですので、私は第2評議会の仲間達と相談して TAKESHI さん達を、第1評議会からわからないようにお守りしていました。」

私は、第1評議会の決定に逆らっても私達を守るとってくれたエレナさんやスターピープルの仲間達や第2評議会の仲間達を応援に呼んでくれたロッド星人達の言葉に思わず涙を流しました。

ロッド星人達が、私の自宅に作られていたオリオン星人達のゲートを片付けてくれたために、しばらくぶりに自宅に戻りましたが、以前のようなエネルギーの重たさもなく部屋にいても気分が悪くなる事はありませんでした。

これ以上ホテル暮らしをしろ、と言われても経済的に困難な所まで追い込まれていたのです。しかし、この先、大変な事が起きるのは、覚悟しなければなりません。

PART2 スーパー・ダークピープルに乗っ取られた第1評議会

10月4日にひさしぶりに自宅に戻ってきました。

私達を現在守っているのは、ロッド星人を中心に、アンドロメダ座のスターピープルやケンタウルスとおおかみ騎士団、そしてポラリス星人とアシュタール連合達です。

彼等は、ダークピープル達のターゲットは、私達であると分かっていますので、出来る限り守備力を高めて私の自宅近辺を警護しています。

そして6日には、第2評議会のドクター達も来てくれて、私達の体とスピリットを守護するための特別なシールドを作ってくれました。

その1時間後だったでしょうか、突然巨大なサイキックアタックが起こりました。

まるで稲妻が、私の腹部に直撃したような痛みです。

私は気を失いそうなくらいにショックを受けました。

おそらく、第2評議会のドクター達が守護のシールドを作っていなければ、稲妻のようなエネルギーのショックで私は死んでいたかもしれません。

それは、ダークピープルではなく、第2評議会の闇の創造主達による突然の攻撃だったようです。

その事を予測していたロッド星人が、第2評議会のドクターにシールドを張るようお願いしていたおかげで、私は命を失う事はありませんでしたが、その後何時間も肉体の痛みを苦しめられました。

しかも、私達の警護を行っていたケンタウルスやおおかみ騎士団達を始めアシュタール連合に属するスターピープル達は大きなダメージを受け、負傷者が続出していた模様です。

まるで大きな稲妻に吹き飛ばされたような感じだったと、彼らは言っていました。

負傷したスターピープルは、すぐに第2評議会の治療班の元で治療を受けました。

いつも気のパワーで自分達を守る事ができるポラリス星人も、気づく間もなく大きなエネルギーに攻撃され動く事も出来ないくらい負傷しています。

第1評議会のメンバーは、すぐに全員地球から撤退して、新しく生まれた光の地球の警護と人々のお世話に回る事になりました。

このサイキックアタックを行った創造主は、私達が今まで活躍していた第1評議会の創造主とは桁外れの力を持つ創造主であったために、第2評議会の創造主である事が判明しました。第2評議会の創造主が、肉体を持った地球人である私を直接狙ってきた事にロッド星人は怒り、仲間と共にその創造主をすぐに逮捕したようです。

また第2評議会の創造主達も、自分達の評議会に属する創造主が、肉体を持った地球人に対して攻撃を行った事に対し大変驚き調査に入りました。

すると、その創造主は闇のエネルギーを含んだ「闇の創造主」になっていた事が判明し、第2評議会も大騒ぎになりました。

私達は、このような状況では、私達にもさらに多くの危険が及ぶ事から、光の世界への避難を、第1評議会に要請したのですが、第1評議会は、私達の申し出を認めず、私達が引き続き地球へ残留する事を指示してきました。

さすがに、私だけでなく多くのスターピープル達は、この評議会の決定に異議を唱えています。

私は、第1評議会のメンバー達が怪しいと判断し、ロッド星人にひそかに第1評議会の議員達を調べさせました。

ロッド星人も同じように思っていたのでしょう、すぐに調べに行きました。

私達は不安が募る中で待っているとロッド星人が戻ってきました。

ロッド星人はすこし怒っているようです。

「TAKESHI さんが考えていたように、最近地球にはいりこんで来たスーパー・ダークピープルによってすでに、評議会の半数近くが意識を乗っ取られていました。

きっと評議会のメンバー達の野心や欲望にスーパー・ダークピープルが取り入り、第1評議会の乗っ取りを画策していたのでしょう。」

幸い第2評議会のスターピープル達によって攻撃を避ける事ができたエレナさんも納得顔で

す。

「やはりそうでしたか。私達もおかしいと思っていたのです。

やはり第1評議会は、スーパー・ダークピープルにコントロールされていたのですね。

本当は私達が、もっと早い時期にこの事に気づいていたなら TAKESHI さんも仲間達も傷つけなくてよかったのに、TAKESHI さん、本当に申し訳ありませんでした。」

エレナさんの顔が今度は涙顔になってしまいました。

「私はすぐに第2評議会に連絡してドクター達を派遣し、第1評議会を調べてもらう事にしましょう。

幸いアルテミスさんは無事でしたので、TAKESHI さん達はアルテミスさんに連絡を取り、今後の方針を速めに検討してください。」

そう言ってロッド星人は第2評議会へと向かっていきました。

おそらくスーパー・ダークピープルは、第1評議会を乗っ取り、私達を今の地球に残しておいて命を奪いアセンションを妨害する計画をしていたと思われる。

ロッド星人から、第1評議会の上部組織である第2評議会へと連絡が入り、第2評議会のドクター達によって調査が行われ始めました。

すると、やはり半数以上の議員にスーパー・ダークピープルの影響がみられた事が判明し、彼等は治療のために、評議会から外れる事になりました。

私のガイドも兼ねるアルテミスと他の3人の評議会議員は無事でしたので、この4名は残り、アルテミスが第1評議会の議長となったようです。

翌日の7日、私達は第1評議会を立て直すために、新たに議員を選定し直す事になりました。

私達は、現在の地球のアセンションに関わっているメンバー達にも集まってもらいました。

私は、アルテミスやアシュタールのリーダー達とも話をし、新しい評議会のメンバーを選定する基準について話をします。

「みなさんや実行部隊のメンバーとも話をさせていただきましたが、以前から、第1評議会のメンバーは理論派が多く、現場で動いている実行部隊への配慮がないと言われていましたので、新しいメンバーは、現場での活躍経験があるメンバーや実行部隊のリーダーを入れていきたいと私も考えています。

もちろん現在残っているメンバーには引き続き、評議会の代表メンバーとして仕事をして

らいます。」

私の意見に多くのメンバーが賛成してくれました。

今は、地球のアセンションが、第 1 評議会にとって最重要課題であり、スーパー・ダークピープルとの戦いはこれからも予測されますので、実行部隊にも評議会の代表になってもらった方が、様々な事態に対してすぐに対処ができます。

「それでは、評議会の代表ですが、現在の 4 人のメンバーに加えて 6 名のメンバーを選びたいと思います。

実行部隊の中心的な存在であるアシュタール連合のリーダー、そして、私はまだお会いした事がないのですが、アシュタールと同じように実行部隊の連合を指示するリーダーにもお願いしたいと思います。

他にポラリス星人のリーダー、ケンタウルス達を引き連れるライブチヒ、そしてライブチヒの友人である賢者達にも入ってもらう事になりました。

さらに第 2 評議会のスターピープルであるエリシタールの流れをくむ科学技術や医療技術に優れたシャプラン星人も加わっていただきたいと思っています。

新しく選出された評議員は、実戦経験が豊かで、愛の度数も高く、ほとんどのメンバーが、第 5 アセンション以上のメンバー達ですので、非常に力強い評議会が生まれると思います。」

皆さん拍手でこたえてくれます。

「そして、第 1 評議会の議長は、アルテミスさんをお願いしたいのですが、よろしいですか」
皆さんも大喜びです。

ポラリス星人が言葉を添えます。

「第 1 評議会の代表メンバーは、2 度にわたって意識コントロールを受けましたが、その中でもアルテミスさんは、しっかりとした意識で、そのコントロールにも立ち向かってくれました。

彼女しか議長はいないでしょう。」

アルテミスは、恥ずかしそうに答えます。

「皆さんのように素晴らしい方々が集まってくれましたので、私はもう必要ないのではないかと思っておりました。

しかしながら、第 1 評議会の多くのメンバー達は、スーパー・ダークピープル達に意識をコ

ントロールされ、TAKESHI さんを始め、皆さんに多大なご迷惑をかけたのも事実です。私達、元第 1 評議会の代表メンバーはその責任をとる必要があると考えておりますので、皆さんと共に働かせていただきます。」

アルテミスがそのように言うと、元からの代表である 3 人のメンバーも立ち上がり、新しい評議会のメンバー達に頭を下げています。

しかし、第 1 評議会のスターピープル達は、地球に襲来したスーパー・ダークピープルには対抗できないために、地球での活動は、当面ロッド星人を中心とした第 2 評議会のスターピープルに委ねられ、第 1 評議会のスターピープルは、第 2 評議会の指示で、第 2 評議会のスターピープルと共に活動する事になりました。

第2章 第2評議會を狂わせた創造主戦争の闇

PART1 闇に意識を奪われた第2評議會の長老

第2評議會のスターピープルは、スーパー・ダークピープルと私を襲った第2評議會の創造主の事を調べていました。

ロッド星人が、その結果が出た事を私に報告にきてくれました。

「TAKESHI さん、やはりあの時 TAKESHI さんや第1評議會のスターピープル達を攻撃した創造主が、地球にスーパー・ダークピープルを送り込んでいた事が判明しました。

これはとんでもない事です。

第2評議會の創造主の中にも闇のエネルギーの影響を受けて、闇の創造主になってしまった者がいるようです。

そのために、地球のアセンションにも第2評議會の創造主達が全面的に関わる事になりました。」

「それは力強いです。

あなたが、第2評議會に、地球の事情を詳しく説明してくれたおかげですね。

本当にありがとうございます。」

私はロッド星人にお礼を言います。

「いえ、TAKESHI さん、あなたやスターピープルを傷付けたのは、第2評議會の創造主とスーパー・ダークピープルですので、この後始末は、第2評議會が行うのは当然です。

地球に降りていったスーパー・ダークピープルに関しては、このまま放置しておくとは、地球の光40%の世界のみならず光50%台の世界まで崩壊してしまう可能性がありますので、第2評議會の中でも力が強いスターピープル達を中心に、彼等を光30%台の世界へ押しこめ封印する事を決定しました。

第2評議會はこの作業を10月後半までをめどに行う予定です。」

ところがスーパー・ダークピープルを30%台におしこめる作業は難航を極めました。

というのも、時々第2評議會の創造主からサイキックアタックを受けて作業は中止させられていたからです。

私達は、誰がこのようなサイキックアタックを行っているか調べる為に、サイキックアタックのエネルギーをピカフラッシュに辿らせ、犯人を探す事にしました。

ピカフラッシュは、エネルギーの探索を専門とする存在で、エネルギーの中に入り込みエネルギーの発信源を探し出す事ができます。

私は、ロッド星人達を引き連れ、ピカフラッシュの後を追います。

すると第2評議会の創造主達の奥深い場所へと入って行きます。

そこに現われたのは、大きな闇の渦の中に閉じ込められ、正気を失っている 1 人の創造主でした。

彼は何かには操られるように、私達に対してサイキックアタックを行っていたのです。

その創造主の姿を見てロッド星人達の顔が青ざめています。

ロッド星人が、すぐに第2評議会に連絡を取ると、多くの創造主達がやってきました。

創造主達は、闇の渦巻の中に閉じ込められた創造主を見ると驚きと悲しみの声を上げています。

創造主の 1 人が泣き崩れます。

「偉大なる長老よ、どうしてあなたがこのような闇の中におられるのですか。

あなたは、私達創造主を生みだし、今迄導いてこられたではありませんか。

あなたは、常に正義と調和を説き、私達を豊かな愛で満たしてくださった。

その様な、あなたがなぜ、このような闇に捕らわれた姿でいるのですか。」

私はこの創造主の言葉によって、この意識を失った創造主が、第2評議会の創造主の産みの親であり、偉大なるリーダーであった創造主である事を知りました。

ロッド星人が私に小声で言いました。

「この偉大なる長老は、身も心も弱ってこられたために第2評議会を部下達にまかせ、ご自分は創造主としての仕事を引退されました。

しかし、誰よりも正義感が強い創造主でしたので、彼を呑み込んだ闇がどれほど大きい物であったのかが分かります。

おそらく、TAKESHI さん達を攻撃してきた創造主も、同じ闇のエネルギーに影響された可能性もあります。」

第2評議会の創造主達は、長老を囲むようにして長老に光を送っています。長老の混濁した意識を戻し、正常なものにしようと力を合わせていますが、彼を取り囲む闇の渦巻にその力を遮られています。

しばらくすると、大きな光が第2評議会の創造主の上に現われてきました。私も一体何が起きたのか呆然としていると、光の中から今まで見た事もない大きな光を持つ創造主が現われました。

「偉大なる創造主よ、あなたはこの宇宙の正義のために大きな貢献をしてくれました。私達は、あなたを光に返しましょう、安らかに光に戻ってください。」

ロッド星人が呆然としている私に教えてくれました。

「あの方は、第3評議会の創造主様です。第2評議会でも、最も位置が高い長老を光に返すために現われてくれたのでしょうか。」私達は、これで地上に戻りましたが、第2評議会では、しばらくの間、光に帰った長老を弔う儀式が続いていたようです。

PART2 闇に飲み込まれた第2評議会の議長

第2評議会のスターピープル達によって、地球に襲来したスーパー・ダークピープルは、その多くが光30%台の世界へと分離され、その力を失いつつあります。私達は新たに選出された第1評議会のメンバー達と話し合い、そろそろ光の地球に戻るための準備をする事にしました。

気がかりだったスーパー・ダークピープルも、第2評議会のスターピープルのおかげで片づくめどがつかまりましたので、その作業が終わる10月26日に光の世界に転送してもらう事を私達は決定しました。

この日は、遅い夕食を終え、どのような格好で光の世界に行くか、恵理さんと話をしながらその時を待っていました。

私はすこしおしゃれなジャケットを着てみました。

本当はあまり意味がないのですが、楽しい気持ちがあふれてくるのです。

私達は、指定された時間になると目を閉じ瞑想を始めましたが、予定の時間が来ても、私達の転送は始まりませんので、今度は一体何が起きたのか心配です。

しばらくするとアシュタールのエレナさんから連絡が入りました。

「TAKESHI さん、大変です。

私達は転送を行なおうとしているのですが、異常が発生して転送のためのゲートが開かないのです。

どうやら転送のためのゲートが第2評議会からの指示により閉ざされ、皆さんを転送できなくなってしまったようです。」

私は急いでロッド星人を呼び出し、状況を聞きしましたが、彼もこのような指示は聞いていないようです。

「TAKESHI さん、これは私達も知らない事ですし、第2評議会のメンバーに聴いてもその様な話合いは行っていないとの事でしたので、第2評議会の創造主のリーダーの単独の指示による可能性もあります。」

「そうですか、それでは、私達はこれから、第2評議会に上がり、事情を調べたいと思いますので、あなたも一緒に来てもらえますか。」

私はそのように言うとロッド星人に連れられて、恵理さんと一緒に第2評議会へ上がっていききました。

するとそこには、第2評議会のリーダーを始め、数名の創造主達が、何か話し合っています。きっと、私達がやってくる事を知って、対策をとろうとしているようです。

私は、自分達の転送が突然中止された事について、第2評議会の創造主達に、その理由を尋ねました。

第2評議会の創造主の1人が私に答えました。

「TAKESHI さん、突然の事で大変申し訳ありません。

私達の評議会では、皆さんの転送の中止に関しては、何の相談も行ってはおりません。

第2評議会の創造主の議長が独断で転送を中止した事が、今わかりました。」

私は、第2評議会の創造主の議長の前に立ち、一体何が起きたのか、説明を求めました。すると議長は赤い目をして意識が混濁している状態です。

周りにはいる創造主達も議長の様子がおかしい事に気づき心配しています。

「私は、第2評議会の創造主の議長として、皆さんが光の地球にはいる事を認めません。」

「議長よ、それは何故ですか、私が光の地球にはいる事はすでに定められた事です。反対する理由はないはずですが、もしその理由があったら教えてもらえませんか。」

「その理由については、今は言う必要はありません。」議長はそう言って私達の元を去ろうとします。

恵理さんは、議長の様子を見て、とても大きな支配欲に取り付かれ、闇に飲み込まれている事を発見しました。

「待ってください、議長。

あなたの本当の考えを聞かせてください。

それでなければ、私はあなたに取り付いている闇のエネルギーを処理しなければなりません。」

議長は私の射抜くような声にビックとして振り返りました。

「私は、何も言う事がない、私に闇のエネルギーがついているなんて変な事を言わないでくれ。」

議長が急にしどろもどろになって慌てています。

すると私の横に大きな光が降りてきました。

それは、第2評議会の創造主を生みだした第3評議会の創造主のようです。

第2評議会の長老が大きな闇に巻き込まれた事を知り、上位の創造主達が大丈夫か見に来てくれたようです。

議長は、第3評議会の創造主が現れると、その前にひざまずき、どうしたらよいのか分からず、おろおろしています。

しかし、第3評議会の創造主の光を受け取ると、少しずつ冷静になってきたようです。

「創造主様、本当に申し訳ありません。

私は長老様から、TAKESHIさん達を光の地球や評議会の中に入れてはいけないと言われていたのです。

もし彼が評議会に戻ってきたら、私は、彼のスピリットと深くつながる創造主から、その立場を奪われると言われていたのです。

そして、私は第2評議会から追放されるだろうと。

そのために私は、TAKESHI さん達が地球で物理世界にとどまり、ダークピープル達に傷つけられる事を望んでいました、どうかお許してください。」

第3評議会の創造主は、彼に向かって言いました。

「あなたは、今までこの宇宙のために大きな貢献をしてきました。

あなたの立場を奪う者などいないのです。

しかし、あなたはあなた自身の手によってあなたの立場を奪い取ってしまいました。

長老と共に、闇に飲み込まれてしまう事で、あなたは尊厳に満ちたあなたの光を失ってしまったのです。

どうぞ、私のもとに戻ってきてください。」

創造主の議長は、顔を上げ光り輝く第3評議会の創造主のもとに消えていきました。

第2評議会の創造主の中でもとりわけ大きな力を持つ議長が、長老と同じように闇のエネルギーに捕らわれていた事を知った第2評議会は大きな混乱に見舞われました。

第2評議会の全ての創造主達が、自分達が信頼していた物を一瞬のうちに失ってしまったのです。

第3評議会の創造主は、第2評議会の創造主に向かって言いました。

「あなた方は、この第2評議会の世界に流れ込んだ大きな闇をしっかりと解消しなくてはなりません。

その闇が残る限り、あなた方は、第2、第3の長老や議長達を生み出す事でしょう。

私達は、その事にあなた方自身が気づくように、TAKESHI さん達を作り出し、この世界の闇をきれいにしたいと思ったのです。

これからは、TAKESHI さんのスピリットと深いつながりがある「栄光の創造主」を中心に新たな評議会を作り出し、地球のアセンションを成功させてください。」

PART3 創造主大戦争のなごりの闇と創造主からのアタック

私達は、第3評議会の創造主の御言葉をしっかりと胸に刻み第2評議会を作り変えていかなければなりません。

そのために、私達が行なわなければならない事があります。

そのひとつは、長老や議長がとらわれた闇がどこから来ているのか確かめて処理する事、そして他に闇に取り込まれている創造主がいないか、調べる事です。

議長が残した闇のエネルギーを調べていくと、ひとつの記念碑的な建物に行きあたります。この場所は、過去に創造主同士の大きな争いが起こり、その時の事を忘れないように、創造主大戦争の闇の1部が記念館に封印されていた場所です。

しかしその闇が、誰かによって封印を解かれ、第2評議会の創造主の世界に流れ込んだようです。

そして、最初に創造主戦争の数少ない生き残りである長老に、その闇のエネルギーは流れ込み、大きな渦として成長していきました。

そして長老によって作り出された創造主の中に、闇の力は増殖していったのです。その犠牲者の1人が先ほどの議長だったのです。

そして、この闇の力は、さらに第2評議会の創造主から、第1評議会の創造主に流れ込み、第1評議会の創造主達の多くが闇のエネルギーに捕らわれ、闇の創造主になってしまったのです。

特に、この闇の力を物理世界で保持していたのが、私達が先日、闇の奥深い世界で処理した蜘蛛のような創造主でした。

創造主大戦争によって生まれた「創造主達の闇」は、地球を覆いつくし、地球を深い闇の中に落とし込んでいたのです。

その事に気づいた第2評議会の創造主は、創造主大戦争によって生まれた闇の残りを集め、この闇の力が、他の世界に影響を与えないように、闇に光を送り浄化する事になりました。

第2評議会の全ての創造主達が集まり、闇の周りを取り囲み、光を送っています。

第2評議会の創造主達は、自分達が記念碑として、この闇を保存していたために、闇が外に流れだした事をととても後悔しています。

創造主大戦争の闇が消し去られると、第2評議会の創造主達は、お互いをチェックし評議会の創造主が闇に侵されていないかを調べる事になりました。

残念な事に、議長と仲が良かった数名の創造主にも闇のエネルギーが入り込んでいた事が分

かりましたが、幸い彼等は意識が混濁するほどではなかったもので、第3評議会の創造主から、光のクリアリングを受ける事で、この闇を解消する事ができました。

しかし、第3評議会の創造主達も、この第2評議会の闇については以前から知っており、第2評議会の創造主に警告を行っていたのですが、第2評議会の創造主達が、この闇を消滅させずに残していた事に、自分達も責任を感じています。

地球に対しても、第2評議会の創造主、第3評議会の創造主は共に協力して地球の闇を取り除く作業を行う事にしてくれました。

第3評議会の創造主は私達にこのように話してくれました。

「創造主大戦争の時に作られた闇のおかげで、地球人の多くが理性を失い、欲望に捕らわれるようになった事も事実です。

またダークピープル達もこの闇の力を受け、地球での力を高め支配を行っていた事もわかりましたので、第2評議会と第3評議会の創造主は協力して、地球の闇をとり除きます。

この地球の闇をとり除いた時点で、地球人の愛の度数を回り直し、再度地球人が行く世界を選別し直す事にしましょう。」

アセンションに関わっているスターピープル達は、これで、地球人の中でもアセンションできる人が増えるのではないかと大きな期待が膨らんでいたようです。

10月の最後の数日、創造主達によって地球の闇のエネルギーの浄化が行なわれました。

そして、11月1日、創造主達による闇のエネルギーの浄化が終わり、この日から第1評議会のスターピープル達が地球に入り、人々の愛の度数を測り直す予定でした。

しかし、第1評議会のスターピープル達が、地球に入った頃を見計らって、大きなサイキックアタックが、私達を襲いました。

私の体には、肝臓を中心に大きな激痛が走り、私はお腹を押さえたまま倒れ込んでしまいました。

ロッド星人は、再び第1評議会のスターピープル達を緊急避難させ、第2評議会のスターピープル達を結集させ、私達の防御を行いました。

そしてピカフラッシュにも協力してもらい、誰が私達にサイキックアタックを仕掛けてきたか、

第2評議会の創造主達が調べています。

ロッド星人が第2評議会の創造主を伴って私の前に現われました。

第2評議会の創造主が、私に報告をしに来てくれたようです。

「TAKESHI さん、今回のあなたへのサイキックな攻撃は、第2評議会の創造主達によるものでした。

それも第2評議会に属する創造主の中でも、評議会の中心メンバーに選ばれなかった創造主達が、その事を恨んで第2評議会の創造主のリーダーであり、TAKESHI さんのスピリットと深いつながりを持つ「栄光の創造主」に攻撃を仕掛けてきた事が判明しましたのです。

「栄光の創造主」にもその攻撃の影響は出たのですが、とりわけ物質世界に肉体を持つ TAKESHI さんには、とても大きな攻撃になってしまいました。

その事を第2評議会の創造主を代表して、私が謝罪に参りました。

本当に申し訳ありませんでした。」

ロッド星人が続けて説明してくれます。

「第2評議会の創造主達は、サイキックアタックを行なった創造主を捕え調べたところ、やはり先日光に返された第2評議会の元議長であった創造主の手下である事が分かりました。

彼等にも、すでに闇のエネルギーが多く入っていたのですが、第2評議会の主要な創造主でなかったために、闇のエネルギーのチェックがしっかりとされていなかったようです。

彼等はすぐに光に返される事になりましたが、まだ安心はできませんので、十分注意してください。」

ロッド星人も第2評議会の創造主も不安げな表情で私の元を去りました。

第2評議会と第3評議会の創造主は、再びサイキックアタックによって混乱した地球のエネルギーを調整し浄化してくれました。

11月3日には、先日の攻撃によるエネルギーの浄化が終わり、再び第1評議会のスターピープル達が入り、人々のスピリットの分離を行なう事になりました。

今回も、何か問題が起こるのではないかと、スターピープル達は注意しながら作業を行っています。

第2評議会のスターピープル達も、まだ片付いていない創造主達が残っている事が判明したために、今まで以上に警備を強化しています。

しかし、今回も第1評議会のスターピープルが、地球に入ってきたタイミングを見計らって、前回よりもさらに大きなサイキックアタックが起きてきました。

それも今回は、時間をずらして2回にわたり、肝臓を直撃するアタックに、私は悲鳴を上げてしまいました。

それは、前回入院した直前の痛みと変わらない程、強力な痛みです。

しかも、病院からもらっていた痛み止めの座薬を使っても痛みが消える事はなく、6時間以上その痛みで悩まされました。

ロッド星人が私に声をかけます。

「TAKESHIさん、本当に申し訳ありません。

第2評議会のスターピープル達が全力で守護しているのですが、これが限界のようです。

今、サイキックアタックを行っている創造主達をつかまえますので、しばらく我慢してください。」

私は、あまりの痛さに、ロッド星人達がどれほど痛みを防御しているのか聞いてみました。

「おそらく痛みが10分の1くらいにはなっていると思います。

もし防御をしていない状態で、第2評議会の創造主のサイキックアタックを受けていたなら、TAKESHIさんとはいえ命はもうなかったでしょうね。

攻撃のショックで心臓や肝臓の働きがストップしていたと思われる。」

私はその言葉に大きな恐怖を抱かずにはいられませんでした。

「あ、ありがとう、ロッド星人。」

10分の1とはいえ、本当に言葉にならないほどの痛みです。

「それで、スターピープル達は大丈夫だったのですか。」

「ご安心ください、こういう事もあろうかと思い、スターピープル達が働いている様な幻影を見せておりましたので、スターピープル達には被害はありません。」

まあ、被害が私だけで済んだのは良かった事です。

やがて痛みが少しずつ治まって来ました。

前回と同じように、第2評議会の元議長の手下達が攻撃していた事が分かりました。

第2評議会の創造主、第3評議会の創造主達は協力して犯人を捕まえ、光に返してくれました。

しかし、ここ数日、私の体は、何度も受けた攻撃によって大きく傷つき仕事をする事も出来ず、寝込んだままの状態です。

この2つの攻撃が終わり、再度世界をきれいにしてから、第1評議会のスターピープル達が入り光の世界に行く可能性がある人々の愛の度合いを再度計測したのですが、思ったより人々の愛の度数が高くない事に大きな失望を感じています。

アシュタールのエレナさんが、困った顔をしています。

「TAKESHIさん、第2評議会の闇が晴れた事で、地球の人々達が巻き込まれていた大きな闇がとり除かれる事になりました。

本来ならば、人々の愛の度数は上がり、光51%以上の世界にもっと多くの人々が入ってきてよいのですが、皆さんの愛の度数がさほど変化しないのです。

これでは、地球の人々の中でアセンションできる人が少なくなってしまうです。

来週行われるアメリカの大統領選までに、もっと多くの人々を光が多い世界に連れて行かないと大変な事になってしまいます。」

第3章 第3評議会に隠された巨大な闇の創造主

PART1 アメリカ大統領選挙の課題

11月9日に行われたアメリカの大統領選でトランプ氏が当選した事に、私達は大きな驚きを感じています。

それも、光が少ない世界だけでなく全ての世界においてトランプ氏が当選したようです。私も、その結果を見て一体これはどういう事だとスターピープル達に尋ねましたところ、非常に高次の創造主の方が出てこられて、トランプ氏の当選の事について説明していただきました。

投票の3日ほど前までは、創造主やスターピープルの世界でも、光が多い世界では、ヒラリーさんが当選する予定だったのですが、全ての世界においてトランプ氏が当選してしまいました。

これに関して、突然創造主の意向が変化したようです。

それは、先日とても大きな闇のエネルギーが取り払われる事により、地球人の愛の度数が高まり、皆さんのいくべき世界がさらに高くなる予定でした。

しかし、スターピープルが皆さんの愛の度数を測定したところ、人々を束縛していた大きな闇をはらっても、皆さんの愛の度数にさほど変化がない事が分かったのです。

この結果に対してスターピープルや創造主は、地球の人達が、思ったよりも進化していないという事に失望したようです。

これでは、これから多くの人々が、光の世界に行く事ができないと創造主は考え、多くの人を目覚めさせるために、ショック療法としてトランプ氏を当選させる事になったようです。

確かにトランプ氏は女性や移民などに対して非常に侮蔑的な態度をとりますし、外交面でも強硬姿勢をとります。

民主主義という言葉には、一番似つかわしくない大統領かもしれません。

しかし彼が選ばれたという事は、ヒラリーさんよりも、彼を選んだアメリカ人が多かったという事になります。

彼を大統領に選んだアメリカ人は、これから彼と共に歩む事になります。

そして、彼の政策を自ら体験する事で、自分達の中に有る「トランプ的な意識や感情」と向かい合う事になるのです。

それは、アメリカだけでなく世界中の人達も、少なからず体験する事になります。

自分の中に有る傲慢さ、差別意識、弱いものに対する抑圧、怒り、強欲さ、あるいは権威に対する反発、私達は自分の中に有るこのような感情や意識と向かい合い、自分にとって何が必要か、あるいは不要なものは何かという事をしっかりと見極めて進まなければならない世界となります。

創造主はこのように言われました。

「光の世界に行く者は、もっと厳しく自分を見つめて、自分の中に有る欲や不要な感情を乗り越えてほしい。

これはトランプ氏を通して、皆さんの中に有る正義や愛を高めてゆくための試練ですから、少しでも早く乗り越えて、愛の世界に入ってきてください。」

私もよく、創造主から様々な試練を与えられますが、それを乗り越える事でスターピープルや創造主の仲間入りをさせてもらいました。

今回の事は、アメリカ国民だけでなく全世界の人々にとっての試練となるようです。

もし、彼が戦争を起こそうとするならば、全世界の人が一つになって止めなければならないのです。

彼が、女性を蔑視するならば、全世界の男性が、女性にたいして尊敬をもって対等に扱わなければなりません。

彼がもし、経済的弱者を抑圧するならば、全世界の経済的に裕福な人は、経済的弱者を大切に扱わなければなりません。

そして、私達は自分自身の生活や仕事を通して、今まで以上に平和や平等で抑圧のない社会を作りあげなければならないのです。

それが、これから、私達に課せられた生き方になっていく事でしょう。

PART2 第3評議会からこぼれおちていった創造主の闇

11月の始めから、後頭部や首の痛みが続いているのですが、この痛みはダークピープルや地球に生きる人々を通して闇の創造主達が、私達に攻撃を行っている場合が多いので、私達は逆にこの痛みを利用して、闇に落ちた存在達を見つけだしていきます。

この日も朝から、後頭部に痛みが出ています。

私は、ピカフラッシュやロッド星人に痛みの原因となるエネルギーを調べてもらうと、現在行われているスピリチュアル・レベルの分離にたいして、地球に生きている人々や女神達から、光が少ない世界に分離される事に対する反発が起きている事が分かりました。

そのために、多くの存在達が私達にしがみついて、少しでも光が多い世界へと連れて行ってもらいたいと考えているようですが、それは、私達に依存する事になりますので、彼等にふさわしい世界へ分離されていく事になります。

物理的な宇宙の運営を司るエンソフも出てきて説明してくれます。

「私達も、人々が TAKESHI さん達に依存しないように対策を行っているのですが、あまりうまく行っていません。」と嘆いています。

私達にできる事は、1人1人の地球人が、自ら「宇宙の愛」とつながり、自分自身を愛で満たしていく事を教えていくだけです。

私達も、体に不調が起これると、宇宙の愛のエネルギーを体に満たして自分自身を癒します。

今朝も、首や頭の痛みを癒すために、目覚めるとすぐに「愛の源」につながり、体に愛を満たしていきます。

すると、私の体の中から、黒々とした人影のような物が沸き起こってくる様子が見えてきました。

そのエネルギーは、今迄に感じた事もないほど重たくリアルな闇のエネルギーでしたので、さすがの私も自分の内側にこのようなエネルギーがあった事に驚きました。

最近、私と創造主やスターピープルとのつながりが遠く感じられたのはこのためだったかもしれせん。

そして同じように、第1評議会の創造主達にも異変が起っていました。

私と関係が深い「光彩の創造主」が出てきて、第1評議会の間以降の創造主とうまく連絡が取れない事を報告してきました。

彼等は物理世界を担当する創造主ですので、上位の創造主とコミュニケーションがうまく取れていないと、物理世界の運営が混乱して大変な事になります。

創造主の世界を調べてみると、私の体の中に入っていたのと同じような闇のエネルギーが、創造主の間にも立ちふさがり、上位の創造主の指示とは異なる事を、下部の創造主が行っていた事が判明しました。

特に地球の物理世界を担当する女神やマスター達は、その意識を闇のエネルギーにコントロールされて、私達に対するサイキックアタックを行っていた事もわかりました。

この闇のエネルギーを調べていると、先日現れてくれた第3評議会の創造主が、私達の前に姿を見せてくれました。

「TAKESHIさん、今皆さんが調べている闇のエネルギーを私達も気になって調べてみたら、これは第3評議会から分離されていった闇のエネルギーである事が判明しました。第3評議会は非常に厳しい創造主達の世界ですので、第3評議会に入れずに落ちていった創造主達が、第2評議会で創造主の争いを引き起こしていたのです。

そしてその闇は、第1評議会でも闇の創造主の世界を作り、地球や物理的な宇宙を支配していました。

今回第1評議会、第2評議会の闇を処理してきた事で、その根元にあった第3評議会の闇が浮かび上がってきたのでしょう。

この闇は、私達、第3評議会の責任でもありますので、急いで処理を行ないます。」

私達は、先日、遠い過去に行われた創造主戦争を原因とする闇によって、多くの創造主達が闇のエネルギーに翻弄されていた問題を解決したばかりですが、その闇は、第2評議会にとどまらず、第3評議会の創造主達にも大きな責任があったようです。

第3評議会の闇に落ちた創造主達がまき散らした闇のエネルギーは、第3評議会の創造主達によって処理が終了したようですが、物理世界のマスターや女神の混乱はまだ終わらないようです。

ベガ星のリーダーであるマスターベガも、私達に大きなサイキックアタックを行ってきたために、ベガ星の女神達は、此花昨夜姫を除き30%台の世界に落されていきました。

本来は、地球人の進化のためにベガ星のスターピープル達は地球にやってきたのですが、天照大御神やサラスバティ神として、地球人から崇拜されるうちに、地球人を支配する事に、

喜びを見出し始めたようです。

ベガ星人は、自ら神として君臨する事で、地球人の信頼を集め、地球人を従えて来ました。そしてさらに、今回の闇のエネルギーが送られてきた事で、感情が大きく増幅され、自分自身の支配欲やエゴが表に現れてきたのでしょう。

まるで私達が、彼等が支配していた世界を奪い取ろうとしているような幻想に捕らわれて、私の脳神経の機能がおかしくなるように、私の首や後頭部にサイキックなエネルギーを送り、痛みをだしていたようです。

そして、ベガ星人だけでなく、地球人や女神、マスター達も、今回の闇のエネルギーを受けて、隠されていた感情が大きく噴出してきました。

私達は、第3評議会の創造主と相談して、第1評議会の創造主をチェックすると、最上位に位置する「根源の創造主」が、大きな闇のエネルギーの影響によって混乱したままでした。これでは、第1評議会の創造主や物理世界の創造主、女神達に問題が出るのは当然の事です。

私達は、創造主のラインを、もう一度立て直し、適切なエネルギーが物理世界までしっかりと流れていくように、第1～3評議会の全ての創造主とスターピープル、女神達を呼び出して光のラインをつなぎ直す事になりました。

第3評議会の創造主のエネルギーを第2評議会の創造主とスターピープルに繋ぎ、さらに第1評議会にもつないで、創造主とスターピープルの縦のラインのつながりを再度作り直していきました。

次に物理次元の宇宙を司る創造主やマスター、女神達にも、第1評議会からのエネルギーをつなぎなおし、物理次元のエネルギーを適正なものにかえ、地球はもちろん物理的な宇宙の統治を正します。

正常なエネルギーが、宇宙に流れてくる事で、創造主とスターピープル達の混乱は収まり、創造主達の働きが正常化していく事でしょう。

そしてさらに、エネルギーの混乱によって傷ついた銀河や星々の修復を行う為に、第1～3評議会グループを作り、一つ一つの銀河や星々のエネルギーを調整していきます。

やがて星々の修復が終わると、私達は再び、創造主達が協力し合って、光を流していきます。

PART3 光に返された「道を生み出す創造主」

第3評議会の創造主達の闇のエネルギーがなくなると、恵理さんが、3 か月ほど前からめまいが起きていた事を私に伝えてきました。

彼女は妊娠によるものだと考えていたのですが、栄養状態も体の具合も問題がない事が分かり不思議に思っていたようです。

私は、恵理さんに対して、何者かが精神的な攻撃を行っているのではないかと思い、ロッド星人達に相談しました。

私達はすぐにピカフラッシュを呼び、めまいを起こしている原因となったエネルギーを辿り、そこに何が起きているか調べる事にしました。

ピカフラッシュは、いくつも闇のトンネルを駆け抜け、私達の世界とは異なる世界へと入って行ったようです。

そしてそこには、私達が体験した事もない大きな闇のエネルギーを持った創造主がいました。私達は突然の事で大変驚いたのですが、私達は、さらに大きな力を持った創造主に守られていたようです。

その創造主は、私達が自分の世界に入ってきた事が分かった時、巨大なエネルギーで私達を攻撃しようとしたようですが、それと同時に、大きな光が輝き、彼の動きは止められてしまいました。

もしそうでなければ、私達の生命はもうすでになかった事でしょう。

これほど大きなエネルギーを持っている創造主にはあった事ありません。

私は、ロッド星人に私達を攻撃してきた創造主は誰か尋ねてみました。

彼はしばらく創造主のエネルギーを調べてから答えました。

「TAKESHI さん、私達は大変な創造主に出会ったようです。

この創造主のエネルギーは、第3評議会の創造主と同じ位、もしくはそれ以上の力を持った創造主です。

しかも、私が出会った事もないほど、大きな闇のエネルギーを含んでいます。

すぐに第3評議会の創造主達に来てもらいましょう。」

その当時の私達にとって、第3評議会の創造主達は、夜空に輝く星のような存在で、恵理さんにもその姿は、はっきりと見えていません。

私もかろうじてメッセージを受け取る事が出来る程度のつながりでした。

私は心の中で、第3評議会の創造主にここにきてくれるようお願いしました。

第3評議会の創造主達の光が、この場所にいくつも入ってきました。

そして創造主としての姿を現した彼等は、私達が発見した創造主を見て驚愕しています。

第3評議会の創造主の1人が、動きを止められて佇んでいる創造主に話しかけています。

「偉大なる「道を生みだす創造主」様、何故このような場所にいらっしゃるのですか。

私達は、あなたを探し求めていたのですが、ここで何をしていらっしゃるのですか。」

もちろん、「道を生みだす創造主」と呼ばれた創造主は、答える事も動く事も出来ません。

私は、第3評議会の創造主の1人にこの創造主の事について尋ねました。

「偉大なる創造主よ、私達の意識にエネルギーを送り、私達をコントロールしようとしていたエネルギーを辿ってきたら、この場所に私達は導かれました。

幸い、私達は攻撃を受ける前に、この創造主は誰かに動きを止められたようですので、私達は助かりましたが、この創造主はどのような役目を持つ創造主なのですか。」

「TAKESHIさん、恵理さん、本当にご迷惑をかけて申し訳ありませんでした。

この創造主は、「道を生みだす創造主」と呼ばれる創造主で、以前は私達のリーダーでした。

彼の役割は、宇宙に生きるすべての創造主やスターピープルの模範となるような人生を生みだす事です。

もちろん彼も、どの創造主よりもはるかに愛情深く、正義と公正さに満ち溢れた創造主でした。

私達は彼と共に、宇宙の創造の仕事に携われる事を誇りとしていました。」

私は、第3評議会の創造主が彼の姿を見て、大きな悲しみに襲われている様子が分かりました。

「その様な立派な創造主がどうして、このように多くの闇を含む創造主になってしまったのですか。」

「それにはとても悲しい出来事がありました。

はるか遠い昔、私達が第2評議会から選ばれて第3評議会に上がろうとするときに、上位の創造主から大きな試練を与えられました。

私達はその試練になかなか打ち勝つ事ができずに困っていた時に、「道を生みだす創造主」が、自分の身を犠牲にして私達を守り、その試練を解決してくれたのです。

私達は、彼がいなければ、第3評議会にあがる事はもちろん、自分達の生命さえも傷つけてしまう所でした。」

第3評議会の創造主達は「道を生みだす創造主」の周りに集まり、彼を囲むようにして祈りをささげています。

「彼は、私達にとってなくてはならない存在だったのですが、その試練で自分の身を犠牲にする事により大きな傷を負ってしまいました。

私達は、その傷をいやすために一生懸命祈り続けたのですが、彼はこの事が原因で闇のエネルギーに触れてしまい、闇の中に引きずり込まれていったのです。」

「そうだったのですか、それは悲しい事です。

素晴らしい力を持った創造主達が、闇に落ちる姿を見る事は何時でも悲しい事です。」

「彼が闇に落ち光を失いかけた時も、私達は彼のために祈り続けていました。

第4評議会の創造主様からは、彼は闇に飲み込まれ、光の創造主に戻る事はないので、光に返すように言われたのですが、私達は彼を光に返す事はできませんでした。

彼はどんなに深い闇に落ちても、学びを終えればきっと戻ってくると信じていたのです。

しかし、私達はやがて彼の姿を見失ってしまいました。

彼の波動が落ち、第3評議会とは遠く離れた場所に行ってしまったのです。

しかし、このような形で再会するとは思ってもいませんでした。」

第3評議会の創造主は涙を流しています。

その時、第4評議会の創造主があらわれました。

「道を生みだす創造主」を始め、第3評議会の創造主を生みだした創造主のようです。

おそらく私達を「道を生みだす創造主」から守るために、彼の動きを封じたのも、この創造主だったようです。

「第3評議会の創造主達よ、あなた達の望みは絶たれました。
どれほど素晴らしい創造主であったとしても、深い闇に落ちれば、自分の力でそこから抜け出す事は非常に難しいものです。
私達は、「道を生みだす創造主」を早く光に返すようにと、皆さんに何度も忠告しました。
しかし、皆さんはその事を行わずに彼を見守り続けました。
彼が行なった事の恐ろしさを、これから皆さんは知る事になるでしょう。」

第4評議会の創造主はそのように言う。「道を生みだす創造主」を光で包むと、彼と共に光の中に消えていきましたが、彼が最後に言った言葉は、私達の中にも、大きな不安を残していきました。

PART4 新たな宇宙の出発に向けて、スターピープル達の開放

「道を生みだす創造主」を光に返した後、私達の意識は、私達のもとに戻ってきました。
ロッド星人達も、高次の創造主の中でも闇に落ちた創造主がいた事に大きな落胆を示しています。
私達も、大きなため息をついていた時に、第4評議会の創造主の1人で、恵理さんとも深い関係がある創造主が出てきてくれました。

第4評議会の創造主の役割は、1人1人の創造主が、自分の意思により宇宙を生みだす事のようにです。
私達が属する宇宙も、たった1人の創造主の意思から生まれたようです。
そしてその創造主は、私達が属する宇宙だけでなく、他の宇宙も創造します。
その様な創造に携わる創造主達が数十人いるようです。
そして、創造を司る創造主のほかに、創造をサポートしたり見守ったりする創造主が数名います。

第4評議会では、恵理さんと関係が有る創造主は、いくつもの宇宙を見守り適切に運営されているかどうかを見守る役目のようです。
その創造主が私達にメッセージを送ってきました。

「第3評議会の闇の創造主が退き、彼によって閉ざされていた道が開きましたので、これからあらたな光と闇が統合する世界が出来上がります。

きっとあなた方は新しい宇宙を生み出すために、新たな仕事を任される事でしょう。

新たな宇宙が、間もなく輝きと共に始まるのです。」

彼女はそのように言うと、光と共に消えていきました。

その後、ロッド星人より、「道を生み出す創造主」によって封じられていた第3評議会のスターピープル達がどんどん目覚めてきているという報告がありました。

私達は、最初第3評議會の世界を見ていた時に、スターピープル達の姿が見えない事を不思議に思っていたのですが、この世界になると、スターピープルもとても次元が高くなるので、創造主とひとつになっているのだろうな、と思っていました。

しかしそうではなかったようです。

第3評議会のほとんどのスターピープル達は、「道を生み出す創造主」から捕らわれ光もささない場所に閉じ込められていたようです。

私達の前に、グルナレッドと呼ばれるスターピープルの種族が現われました。

彼は、もともと私と深い関係にある「道を指し示す創造主」と共に活躍していたスターピープルです。

グルナレッド達は、第2評議會に属するスターピープルであるロッド星人と同じように、私達と共に働く事を望んでいます。

私達と共に、この宇宙や創造主達の世界をより良い物にする事を、高次の創造主から託されているようです。

私達は、グルナレッド達によって、第3評議會の創造主や宇宙の成り立ちの事についてもっと詳しく調べる事ができるようになりました。

グルナレッド達は、私達にひとつの提案を行ってきました。

「私達は、スピリチュアルな世界と物理世界のエネルギーを正常に保つ施設を持っていましたが、これも「道を生み出す創造主」達によって破壊されてしまいました。

そのために、第3評議會の多くのスターピープル達もエネルギーが弱まり、闇に飲み込まれてしまったのです。

私達は、すぐにその施設を作り変えて、適切なエネルギーをこの宇宙に流し、スターピープルを目覚めさせたいと思います。

この施設がしっかりと稼働して、宇宙のエネルギーが整う事によって、光と闇のエネルギーのバランスが取れた適正な宇宙が生まれてくるでしょう。

その事を行いたいのですがよろしいですか。」

もちろん私達もその事に同意しましたし、他の評議会の創造主も大喜びです。

その後、深夜になってグルナレッドからのメッセージが詳しく伝えられてきました。

そのメッセージによって、第3評議会の創造主達に、一体何が起きたのか、私も詳しく知る事ができましたので、チャネリング・メッセージをそのままご紹介いたします。

TAKESHI さん、あなたとお話をする機会を与えられてうれしく思います。

私は、あなたのスピリットの本体である第3評議会の創造主「道を指し示す創造主」と共に長い間、働いてきました。

「道を指し示す創造主」は、幾多もの宇宙の創造に関わり、理想的な世界を求めて、多くの星々に人々を生まだしました。

彼は精神的に優れた道を求める創造主で、過度の科学的な発展よりも精神的な成長を望む創造主でした。

彼は、常に宇宙の愛と共に行動し人々を導いてきたのです。

あなたの兄弟のような立場にある創造主は、「道を生みだす創造主」と呼ばれていました。

彼は、自分自身が創造主や人々の生きる模範となるように、正しい道を自ら歩んでみせる創造主です。

様々な障害を乗り越え、常に正義と勇気を持って実践されていた創造主です。

あなた方は、とても仲が良く、あなたは彼を兄のように慕い、自分自身も彼のようになりたいと努力していました。

あなた方がまだ若い頃は、2人で協力して、様々な議論をしながら、星々を生みだし人々を成長させていきました。

私達グルナレッドの種族もスターピープルとして、皆さんと共に歩んできました。

私達は、あなた方、創造主が作りたいと希望する星々を作り、また指導したい人々のもとに

降り立ち、あなた方の指示に基づいて、星の人々を指導する役目を担ってきました。

私達は、あなた方兄弟の創造主に常に付き添って、あなた方の仕事を手伝ってきたと言ってもよいでしょう。

そして、長い年月を重ねて、あなた方兄弟もそして私達も成長してきたのです。

あなた方が、第1評議会で活躍している時も私は共にいましたし、第2評議会にいた時も、皆さんの役目を手助けするために共に活動していました。

創造主のスピリットの一部が、今のあなたのように、特定の星に降りる時は、私達も共に降りてその一部を守護し、創造主の目的のために共に働いていたのです。

しかし、あなた方創造主が、第3評議会に上がり、第3評議会を構成する時に、さらに上の評議会の創造主から、皆さんが第3評議会の創造主にふさわしいか、大きな試練を受ける事となったのです。

それは厳しい試練だったと思います。

大きな欲望のエネルギーが創造主達を襲いました。

欲望のエネルギーに打ち勝ってどこまで理性的である事ができるかという試練ですが、「道を生みだす創造主」は、その欲望と勇敢に戦いましたが、実は、彼はその欲望に負けてしまったのです。

彼に与えられた欲望は、自分を大きく見せたい、自分自身をかけがえのない存在に見せたいという欲望だったのです。

そのために、彼は他の創造主をかばって自分自身が犠牲になったという姿を演じました。

しかしこれこそが、彼の欲望をかきたて、彼を陥れる為の罠だったのです。

彼は、欲望にまけて、彼自身を欲望に引き渡してしまいました。他の創造主は、彼のそのような姿を見て、自分達のために自己犠牲を払ってくれたと勘違いしてしまったのです。

そのために、第3評議会に残った創造主達も、この「道を生みだす創造主」を負かしてしまった欲望の罠のトリックにはめられてしまったのです。

他の事に関しては、非常に冷静で高度な叡智を持っている第3評議会の創造主が、「道を生みだす創造主」に関しては、彼が闇に堕ちたとしても、それは第3評議会の創造主を守るために彼が犠牲になったからだと勘違いして、彼がどれほど創造主として道が外れた事をして、

許してしまったのです。

すでに彼の心理作戦にはまっている第3評議会の創造主達にしてみれば、彼を戒める事などできるはずもありません。

闇に堕ちた「道を生みだす創造主」のエネルギーは、第2評議会の創造主達を巻き込んでしまい、創造主同士の戦争を引き起こしました。

そして今回も、アセンションを望む創造主と反対する創造主の間に大きな分裂を生んでしまいました。

第2評議会の長老と議長を中心とした闇に堕ちた創造主達の勢力と、あなたを生みだした「栄光の創造主」達の勢力の分裂は、新たな創造主戦争を生み出す手前の状態でしたが、あなた方の力によって創造主戦争は回避されました。

しかし、過去に起こった創造主戦争の闇の一部は、第1評議会に闇の創造主を多数生みだし、闇の創造主の世界を作りあげてしまいました。

そのリーダーは言うまでもなく「創造主の独自性を育てる創造主」ですが、第1評議会の創造主は、彼の心理作戦に巻き込まれ、果てしない闇の世界を作りあげていったのです。

そして第1評議会が統治する物理世界にも、数多くのダークピープルや闇の創造主に支配されるマスターや女神達が生みだされました。

そのために天の川銀河だけでなく多くの銀河や星団に属する星々も闇が多いものとなり、争いや抑圧の多い世界が生れる事になったのです。

私達が第3評議会で行っていた仕事は、第3評議会から第2評議会そして第1評議会の創造主やスターピープル達のエネルギーを、宇宙の愛に基づいて、適正なものにしていく事だったのですが、「道を生みだす創造主」が闇に堕ちて、第3評議会が、彼の心理作戦に飲み込まれるようになると、私達スターピープル達は、「道を生みだす創造主」の策略の邪魔になるという事で、彼から滅ぼされたり、その力を奪われて幽閉されたりしていました。

現在第3評議会に残っているスターピープル達はあまり大きな力がなく、いざという時は「道を生みだす創造主」に従う程度のスターピープル達です。

そのために、今回地球のアセンションの大切な場面で、大きな闇の力が、何度も地球や天の川銀河に押し寄せ、皆さんの活動を妨害してきたのです。

そのたびごとに、第1評議会の代表者達、第2評議会の代表者達、そして今度は第3評議会の代表者達も闇に飲み込まれていた事が判明したのです。

幸い、TAKESHIさんと恵理さん達は、ロッド星人や勇敢な第1評議会のスターピープル達によって、ギリギリのところを守られる事ができましたが、TAKESHIさんの心と体には、大きな痛手を負わせてしまう事になりました。

これも、私達から言わせると、理性的な創造主よりも、「道を生みだす創造主」の息のかかった創造主達が多かったからです。

皆さんが、最終的な部分でそれを覆す事ができたのは、実は第4評議会の創造主が助けてくれたからです。

第4評議会の創造主は、第1から第3評議会の創造主を目覚めさせるために、自分達の評議会に属する闇の創造主達を自分達の力で処理する事を望んだのですが、今まで長い時間をかけてもそれは実現しませんでした。

第3評議会の創造主も、これだけスターピープルが捕えられ滅ぼされたりしても、彼等は目を覚ましませんでした。

創造主とスターピープル達に適正なエネルギーを送るための施設が破壊され、闇の創造主やダークピープルがたくさん生み出されたとしても、それは創造主やスターピープル達の学びの為という言葉で片づけてしまい、物理世界がどれほど悲惨な世界になっているか見ようとはしませんでした。

そのためにこの物理世界は荒れ果ててしまい、地球のアセンションをきっかけに、全てのスターピープル達の救済と人々の選別を行わなければならなかったのです。

この計画は、少なくとも第4評議会の創造主の計画です。

第3評議会から第1評議会までは、それぞれの評議会が納得するためのアセンションの目的と理由が与えられました。

しかし本当の所、第1から第3までの全ての評議会の創造主、評議会に従っている創造主、スターピープル、ダークピープル、物理世界の宇宙の星々等、この世界にある全ての物を作り変えなければならなかったのです。

それも、物理世界の地球から出発して、物理世界の現実をしっかりと把握しながら、創造主の

行いを全てチェックして証拠を突きつけて改革するという、途方もなく厄介な方法をとらざるお徳なかったのです。

もちろん今回の皆さんの歩みを見れば分かると思いますが、皆さんの存在を疎ましく思っている存在達もたくさんいて、皆さんの歩みを徹底的に邪魔してきました。

昨日までは、味方だった創造主や女神も、その本性が暴かれると、皆さんに牙をむいて襲い掛かってきました。

現実世界では、共に活動してきた女神やマスター達も闇に巻き込まれれば、平気で皆さんを攻撃してきました。

皆さんは、その中をかいくぐり、第3評議会の闇の創造主までも、すべて処理してくださいました。

第4評議会の創造主は、皆さんをこれほど危険な目に合わせる事なく創造主同士で片付けさせたかったのです。

それが創造主達にとっての学びだからです。

しかし、最終的には TAKESHI さんの手によらなければ解決できなかった事に、第4評議会の創造主は失望も抱いています。

ただ、TAKESHI さんの手であったとしても、第3評議会の闇の創造主まですべてを片付けられた事は幸いでした。

私達を始め、第3評議会の多くのスターピープル達も開放された事で、私達は、新たにスターピープルの評議会を作り、第2評議会、第1評議会のスターピープルと協力して、スピリチュアルな宇宙、物理的な宇宙を一気に理想的な宇宙へと変えていきます。

これが、第4評議会の創造主が言っていた新たなフロンティアなのです。

これから、私達も皆さんと共に活躍する事となります。

1日でも早くこの宇宙全体を光の宇宙にするために活動していきましょう。」

第4章 「道を生み出す創造主」が地上に仕掛けた罠

PART1 全ての宇宙を手に入れるための闇の軍団

11月17日の事、まだ首の痛みが取れないので、気にしていると、グルナレッドから「道を作り出す創造主」の手下を捕まえたという連絡が入りました。

私達もすぐ駆けつけると、この創造主は「道を作り出す創造主」が生み出した創造主で彼の助手の様な存在である事が判明しました。

「道を作り出す創造主」が光に返されたので、第3評議会の様子を調べに行ったところをグルナレッド達に捕まったようです。

復活した第3評議会のスターピープル達にも集ってもらい、彼のゲートを調べると「道を作り出す創造主」から生み出された創造主がまだ4人いる事が分かりました。

第3評議会の創造主達にも来てもらい、その創造主達を急いで見つけだし捕まえました。彼等は「道を作り出す創造主」の指示のもとに動く実行部隊のような創造主達のようです。

気になってさらに彼ら1人1人のゲートを使って調べたところ、彼等の1人1人のもとに多くの創造主が系列だって生みだされていた事が判明しました。

その数は、現在の第3評議会、第2評議会、第1評議会の創造主の数にも匹敵するほどの大きな組織を「道を作り出す創造主」が作り出していたのです。

私は、4人の創造主になぜこのような組織が作られていたのか聞いてみました。

その創造主は、私達をあざ笑うように答えました。

「今、宇宙を運営している創造主達は、ただのお人形のような創造主だと「道を生み出す創造主」様は言っていました。

何の知恵もなく、「宇宙の愛」をお飾りのように振り回すだけのご都合主義の創造主で、闇の力の恐ろしさを少しも知らない奴らだから、闇の創造主が本気を出せばひとたまりもない、と教えてくれたのです。

それならば、そんな無能な創造主よりも、自分達が宇宙を支配したほうがずっとましだと、私達は考えています。」

第3評議会の創造主達はその言葉を聴いて、自分達が「道を生みだす創造主」を信じすぎていた事を知り、愕然となりました。

「そして時が来て、この宇宙がアセンションする時に、一気に自分達の創造主が躍り出て、自分達の手はこの宇宙を取り戻すとも言っていました。

私達は捕まっても、未だ仲間は沢山いるから、この宇宙を叩き壊す事は簡単です、良く見ておくがよい。」

そういつて、捕まえられた創造主達は、第3評議会の創造主やスターピープル達を罵り始めました。

第3評議会の創造主達は、彼等の言葉に怖気づいたようです。

確かに、先日グルナレッドから聞いた話では、第3評議会の創造主に勝ち目はないようです。

その様子を見て、グルナレッドを始め数名のスターピープル達が立ちあがり、怒りをこらえています、言葉が出ないようです。

じっさい、あの時私達が「道を生みだす創造主」を見つけて、彼を光に返していなければ、グルナレッド族達も戻ってくる事はできず、闇の創造主が言うように、この宇宙は「道を生みだす創造主」達の手へ渡っていた事は間違いないでしょう。

第3評議会の創造主達は、他の創造主を信頼し、愛に満たすだけで、闇の創造主との戦いなど少しも考えていなかったのですから、急に彼らから攻め込まれて来たら、あっという間に、第3評議会の創造主達は滅ぼされた事と思います。

そして、第2評議会の創造主達、第1評議会の創造主達も次々と消され、彼等の仲間達が、それぞれの宇宙に君臨していたのは間違いないかもしれません。

その事を裏付けるように、ピカフラッシュとスターピープル達は次々と新たなゲートを開き、「道を生みだす創造主」の軍団を発見したようです。

最初に見つけられたのは、非常に心理操作に長けたダークピープルの大群でした。

先日、地球に突如現れたスーパー・ダークピープル達も、非常に能力が高く私達は防戦一方でしたが、彼等も、この「道を生みだす創造主」が作り出したダークピープルの一部だったようです。

すぐに第4評議会の創造主が彼らの動きを止めてくれたので、大きな戦いは起きませんでした。グルナレッドは彼等を調べてため息をついています。

「もし彼等が、解き放たれていたら、私達もそうですが、第2評議会、第1評議会の創造主やスターピープル達は、アッという間に心理操作を受けていた事でしょう。

このスーパー・ダークピープル達は、精神をコントロールするという事にかけては、私達をはるかに上回る力を持っていますので、何の争いもなく、宇宙は闇の創造主達の物になっていたでしょう。」

彼等には第3評議会の創造主達ではすぐに対応できないようでしたので、私達は第4評議会の創造主にサポートをもらい、彼等の力を封じて光に返してもらう事にしました。

そして次のゲートから発見された物は、破壊兵器としての巨人兵が多数用意されていたのです。

これは創造主達に対して、心理操作ができなかった場合、宇宙連合の宇宙船や基地、そして物理宇宙を破壊するために準備されていた最強の兵器のようです。

ロッド星人やグルナレッド達もこのダークピープルの大群や破壊兵器を見て言葉を失っていました。

今の宇宙連合の勢力では、到底立ち向かえなかった事でしょう。

ましてや、彼等には「宇宙の愛」は全く役に立たないのです。

そして最後に開かれたゲートをみて、第3評議会のみならず第4評議会の創造主達も言葉を失いました。

そこにいたのは、非常に優秀な闇に落ちた魔法使い達でした。

彼等は、ブラックホールのようなエネルギーをすでに生みだし、私達の宇宙を一気に飲み込んでしまうほどの力を持った兵器も準備されていました。

きっと、宇宙を奪い取る事ができなかったら、全ての生命ごと、このブラックホールに飲み込ませてしまう計画だったのでしょう。

第4評議会の創造主も、このブラックホールを見て苦渋の表情を浮かべています。

「私達も、このような兵器まで「道を作り出す創造主」が開発していたとは思ってもありませんでした。

私達も彼の事を未だ甘く見ていたかもしれませんが、今回、彼の部隊が発見されなければ、

その被害は、皆さんが存在している宇宙だけでなく、第3評議会が関わるすべての宇宙にまで広がっていた事は間違いないと思われます。

私達も、すぐに第4評議会の会議を開いて、今後の対応も検討しなければなりません。」

もし、私達が「道を作り出す創造主」を捕まえ、他の創造主を光に返す事ができたとしても、彼等の部隊が動き出していたら、瞬時のうちに私達の宇宙は、彼等の支配する世界に変わったか、あっという間に全ての存在が消えていたに違いありません。

いえ、第4評議会の創造主が言うように、その被害は私達の宇宙だけでは済まなかった事でしょう。

この「道を生み出す創造主」が作った部隊を見て初めて、第3評議会の創造主は自分達が「道を生み出す創造主」を光に返さなかった事が、どれほど大きな過ちで会ったのか、気づいたようです。

彼等は、気落ちして考える能力も失い、ぼーっと立ちすくんでいます。

私は、第4評議会の創造主にお願いして、「道を生み出す創造主」が作り上げた全ての物を光に返してもらいましたが、これですべてなのか、まだ隠している物があるのか判断がつかえません。

第4評議会の創造主が私にそっと話しかけてきます。

「私達は、「道を生み出す創造主」がきっと闇の創造主や特殊なグループを作っているだろうと思っていましたが、これほどの物だとは思いませんでした。

彼はきっとアセンションの時期を狙って動き出す事は明らかでしたので、私達は、彼の動きを止め、皆さんが彼のグループを発見する事を待っていました。

もし皆さんが「道を生み出す創造主」を見つける事ができなければ、この宇宙は、全て闇に落ちてしまった事でしょう。

そうになると、私達は、この宇宙は失敗だったと判断して、宇宙のすべてを抹消するつもりでいましたが、何とかそれだけは止められたようです。

しかし、問題は終わったわけではありません、これからも次々と大変な事が起きてきますので、気を抜かず対処して行ってください。

皆さんだけが頼りなのです。」

私達は、「道を生み出す創造主」が作り出した闇の軍団を処理した後、第4評議회를筆頭に

して、第3評議会から宇宙の物理次元まで、全ての世界に第4評議会の創造主のエネルギーを流してもらい、宇宙のクリアリングを行ってもらいました。

PART2 スターピープルを襲ったコントロールチップ

「道を生みだす創造主」の軍団を片付けた翌日、私達が外出から戻ると水の惑星から来た精霊のような存在が私達を待っていました。

アシュタールのエレナさんも呼んで話を聴く事にしました。

「私達はみずがめ座から来た精霊です。

以前も TAKESHI さん達に助けてもらった星の精霊です。

今日は、TAKESHI さん達にお願いがあってやってきました。

実は、星々を守っているスターピープルや騎士団がおかしくなって星々に混乱が起きているのです。

私達の星も例外ではなく、自然の秩序が乱れ、スターピープル達もお互いに争っているのです。」

宇宙のスピリチュアルなレベルでは、昨日、第4評議会の創造主から光を送ってもらい、クリアリングできているのですが、物理世界に光が届くためには、もう少し時間がかかるようです。

特にエレナさんの話によると、ケンタウルスやペガサス、ケイロン達の馬を基本とした騎士団やドラゴンを基盤とした騎士団、へびつかい座などのダークピープルをたくさん生み出している星座などで、この状況は著しいようです。

となると、どうもエネルギーだけの問題ではないようです。

私達は、第1評議会のスターピープルに集まってもらいましたが、いつも集まる騎士団やスターピープル達が集まっていない事が気になります。

「皆さん実は厄介な問題が起きているようです。

天の川銀河の中でもいくつかの騎士団やスターピープル達が、闇のエネルギーの影響を受けて、通常ではない行動をしているようです。

先日、第4評議会の創造主にお願いして、私達の物理的な宇宙まで光のクリアリングを行ってもらったのですが、その成果が出るまではもう少しかかりそうですので、皆さんでその原因を詳しく調べてください。

特にケンタウルス型の騎士団やドラゴン型の騎士団、ダークピープルが多数存在する星々のスターピープル達を重点的に調べてください。」

スターピープルと騎士団達は調べる範囲や相手の区分けを行った後、それぞれのグループに分かれて飛び出していきました。

やがて、グルナレッドから連絡が入りました。

「私達も、第1評議会のスターピープル達と同行して調べていた所、非常に高度な働きを持つコントロールチップが発見されました。

多くのスターピープルや騎士団が後頭部にこのチップを入れられて、おかしい行動をとっていたようです。」

「そのコントロールチップは、誰が作った物ですか。」

「おそらく第3評議会の技術を使用しておりますから、「道を生みだす創造主」が作った物に間違いないでしょう。」

私は、一瞬、目の前が真っ暗になるのを感じました。

「おそらく「道を生みだす創造主」が、自分達の計画を実行に移す時に、このコントロールチップを使い、彼等をコントロールして、物理宇宙の騎士団やスターピープル達を壊滅させるようにプログラミングしていたようです。」

確かに、今回コントロールチップを入れられている騎士団は、ケンタウルスやケイロン、そしてドラゴン系列の騎士団達ですので、天の川銀河の中でも最強の騎士団達ばかりです。

彼等が、「道を生みだす創造主」にコントロールされて、他の騎士団達に襲い掛かってきたら、大変な事になっていたでしょう。

スターピープル達も同じようにパワーが強いスターピープル達ばかりが狙われていたようです。

「TAKESHI さん、もしよければ、第3評議会のスターピープル達で、このコントロールチップを無効にする機械を作り処理したいのですが、よろしいですか。

おそらく、第1評議会、第2評議会のスターピープル達では、処理できないと思いますので、」

「グルナレッド、もちろんです。
どうか、よろしく思います。」

エレナさんはこの報告を聞いて怒っているようです。

「一体上の創造主達は何を考えているのでしょうか、私達の命なんて何とも思っていないのですね。

こんなちっぽけな機械で、コントロールされるほど、私達は弱くないんですからね。」

そんなエレナさんに、追い打ちをかけるような連絡がグルナレッドから入りました。

「グルナレッドです、コントロールチップの処理を始めたのですが、第1評議会のスターピープルの中でも、実行部隊と呼ばれるグループの約半数に、このコントロールチップが埋め込まれていました。

特にアシュタールのグループは、リーダーを始め多くの中心メンバーにこのチップが発見されました。」

エレナさんは気を失わんばかりに驚いています。

「アシュタールのリーダーにもつけられていたのですか、信じられません！

TAKESHI さん、もうすでに「道を生みだす創造主」の部下かダークピープルが、第1評議会の中にまで入り込んでいたようですね。

「道を生みだす創造主」が光に返されて、コントロールチップの機能が制御できなくなったために、このチップの存在が明らかになったのでしょうか。

もし、彼がまだ生きていたら、あの手下の創造主の言うとおり、私達は、彼等に何の抵抗も出来ずに滅ぼされていた事でしょうね。」

「確かにそうです。私もそれを考えると恐ろしくなります。

幸い「道を生みだす創造主」を光に返し、グルナレッド達が私達の味方になってくれたので大助かりですが、まだこれから何が起きるか、用心しないとはいけません。」

PART3 破壊された「12 神殿」の復興

11月19日の朝、恵理さんが自分の家族や昔の知人から苛められている夢を見て目を覚ましました。

このような時は、ダークピープル達が、地上に生きている人達を使って、私達にサイキックアタックを行い、私達のスピリットを40%台の世界の閉じ込めようとしている事が良くあります。

ピカフラッシュに調べてもらおうと、ダークピープル達を通して、私達に心理操作を加えようとしている闇の存在を発見しました。

すぐにグルナレッドやロッド星人、創造主達を呼び寄せ捕まえてもらおうと、「道を作り出す創造主」が生み出した闇の存在の1人という事が分かりました。

彼等は、多くのダークピープルを使い、光ある人々を苦しめ、アセンションした世界に行かないように妨害を行っていたようです。

そして、この闇の存在を辿っていくと、彼の分身のような存在がいくつもあり、それぞれダークピープルを操り多くの人々の光を奪っていました。

私達は、「道を生み出す創造主」の部下の者達が、地球の物理次元にすでに入り込み、活動している事に大きなショックを受けています。

救いは、グルナレッド達によって宇宙に生きる全ての生命達のエネルギーを適正にする施設がもうすぐ完成し、エネルギーを放射する準備が整い始めた事です。

この施設が完成し、エネルギーの放射が始まれば、人々に取りついたダークピープルの力を弱め、人々の意識をまともな状態に戻す事ができますので、人々が進むべき世界の分離もスムーズに行えるようになります。

その時グルナレッドから連絡が入りました。

「TAKESHIさん、エネルギーを適正にするための施設は出来上がり運転を始めたのですが、少し困った事が起きています。

それは、適正化のエネルギーは、第3評議会から、第2評議会、第1評議会を通過して物理的な宇宙に入ってきます。

そこまではうまく行っているのですが、天の川銀河の物理世界にはいる時は、TAKESHIさん達が作ってくれた「宇宙の12神殿」を経由して、天の川銀河の星々に、適正化のエネル

ギーが入っていくのですが、「宇宙の12神殿」が、ダークピープルやコントロールチップを入れられたスターピープル達により破壊されていたのです。

そして、適正化のエネルギーを「宇宙の12神殿」から受け取って、地球の物理世界に広げる「地球の12神殿」も、その多くが破壊されています。」

やはり「道を生み出す創造主」は、ずば抜けた能力と悪知恵を持っている創造主です。

たとえ光に返されたとしても、私達が行なう事を先読みして、それを妨害するための計画をきちんと作りあげているのです。

やがて、天の川銀河と地球にアセンションのために必要なエネルギーが送られてくる事を予測して、その中継地点になる「宇宙の12神殿」と「地球の12神殿」を破壊しておいたのでしょう。

今回、スターピープルや天の川銀河の騎士団にコントロールチップを入れておいた目的は、宇宙と地球の12神殿の破壊だったのかもしれませんが。

「地球の12神殿」は、私達とアトランティスやレムリア文明などのマスター達が力を合わせて来たるべき時のために作っておいたものです。

各文明の叡智を復活させ、神官達も新たに生み出した神殿で、光の地球が生まれる時に機能する予定でした。

「宇宙の12神殿」もそうです。

かつて、遠い昔、天の川銀河に栄光と平和をもたらしていた「宇宙の12神殿」は、破壊されました。

その神殿を復興し、天の川銀河に平和を取り戻すために、「鳳凰の創造主」達や多くの騎士団達と共に再建したのです。

しかし、この2つの大切な12神殿も、コントロールチップを入れられたスターピープル達やダークピープル達によって壊されていました。

昨日、スターピープルや騎士団達からコントロールチップが発見されたので、コントロールチップの除去が終わり次第、スターピープル達は「宇宙の12神殿」と「地球の12神殿」を復興させて、エネルギーを適正にするための装置の稼働を待つ事となります。

また第3評議会のスターピープルも12神殿の復興のために応援にきてくれました。

それは鳳凰族と天使を併せ持ったような存在で、名前はガルダレッド、美しい黄金色の羽を持つ存在で、新しく生まれる子供と関係が深い創造主の指示によって動くスターピープルのようです。

私達の子供は、もうすでに創造主としての意識と生まれてくる人間としての意識を持っていますので、ガルダレッドが来てくれた事を喜んでいきます。

「TAKESHI さん、恵理さん、そして第1評議会のスターピープルの皆さん、私達は、ガルダレッド族です。

グルナレッド族と私達は、宇宙のエネルギーを適正にするために共に働いています。グルナレッドから、天の川銀河と地球の状況を知らされましたので、エネルギー適正装置の通り道となる「宇宙の12神殿」と「地球の12神殿」は、私達も協力して復興させますのでご安心ください。

そして、皆さんにお礼を言わせてください。

皆さんが、「道を生み出す創造主」とその仲間達を光に返して下さったおかげで、私達を始め多くのスターピープル達が解放され自由になりました。

私達は、皆さんと共に、この宇宙を光と愛に満ちたものにする為に働く事を喜びとしています。

皆さん本当にありがとうございました。」

ガルダレッドの声は優しくそして美しく私達の心に響きました。

このガルダレッド族によって、「宇宙の12神殿」が復興され「地球の12神殿」と光がつけられる事になりました。

また、レムリア文明、ムー文明、アトランティス文明、アガルタ文明などの各文明の12神殿もそれぞれの文明の種族と関係がある第3評議会のスターピープルによって再建を手伝ってもらった事となりましたので、今迄の神殿よりもさらにパワーアップされていくようです。

2日後、「宇宙の12神殿」と「地球の12神殿」の復興が終わると、第3評議会のエネルギー調整装置も稼働を始めました。

「地球の12神殿」を通じて、私達の世界にも多くのエネルギーが流れ込んできました。

すると、地上では、ミストのように見えるスターピープル達が、人間からあふれ出てきたエネルギーの浄化を行う為に働いている様子が、私達にも見えてきました。

この存在は、第3評議会のスターピープルなのですが、全ての次元を自由に行き来できる存在です。

そして人々の感情や意識にたまった不要なエネルギーを開放して、私達を浄化する働きをしてくれます。

PART4 無責任な第3評議会の創造主達

宇宙と地球の12神殿も復興し、第3評議会のエネルギー適正装置からも人々のエネルギーを適正にするためのエネルギーも地球に流れ込んで来ました。

人々の不要なエネルギーも開放され、私達も体が軽くなっていくのを感じていたのですが、11月22日になると、急に体が重くなり、地球のエネルギーもどんよりと濁った物になりました。

私の首から頭の痛みも増し、今迄とは異なるサイキックな攻撃が始まったようです。

そして日本では東北地方での大きな地震も起きた事から、日本の人々に関わる大きな問題が起きているのではないかと思い調査を始めました。

私達が、地球の物理次元を守る大天使達に調査をお願いすると、私達や地球の人々を守護するはずの大天使そのものが、きちんと働いていない事が分かりました。

大天使ミカエルを呼び出し、私達に対する守護がどのようになっているのかを説明してもらいました。

「大天使達にどのように行動するかという指示を与える女神から、TAKESHIさんに送られてくるエネルギーは、TAKESHIさんが過去に行った事が原因だから、彼の力で解決させなければなりませんので彼等に対する守護を行ってはいけないと、指示を受けています。」

私達は、「またか」と思いました。

大天使達は、時折、闇の創造主に騙されて、このように間違えられた指示を与えられるのです。

私達は、大天使ミカエルにこの女神のもとに連れて行ってもらいました。

グルナレッドとロッド星人がこの女神のエネルギーを調べると、第3評議会の闇のエネルギーが、この女神の中にも残っている事が分かりました。

おそらく、天使を指示する女神は闇のエネルギーに操られて、大天使達に私達を傷付けるような指示を出していたようです。

しかし、本来、大天使達は更に上位の大天使達の指示によって動くので、このような女神自体がいる事が不思議なのですが、この女神によって大天使達は操られていた事に間違いはないようです。

私達は、女神が隠していたゲートを調べると、多くの大天使達が捉えられていた空間が発見されました。

そうすると、地上に出ていた天使達も闇の大天使から作られた偽物のようです。

この情報を聞きつけたユニバーサルエンジェル達がすぐにかけてきました。

彼らは、地球や天の川銀河に存在する全ての天使達を導く天使です。

「TAKESHI さん、本当に申し訳ありません。

最近地球の大天使達が、私達の指示に従わず、様子がおかしいと思っていたら、この偽りの女神によって本物の天使達とすりかえられていたようです。

私達ですぐに天使達の部隊を立て直しますので、しばらくお時間をください。」

そうすると宇宙から多くの大天使達を呼び寄せ、天使達の救出に入りました。

恵理さんが、その時物理宇宙の創造主のリーダーであるエンソフもおかしい事に気づきました。

エンソフを調べると、やはりエンソフも偽物、サナンダやセントジャーメインなども偽物である事がわかりました。

17 日に第4評議会からのエネルギーを地上に流した時は問題がなかったので、それ以降に、地球の物理次元に近いマスターや大天使達が捉えられ、偽物に変えられた可能性が高いようです。

これは「道を作り出す創造主」の仕業ではなく、未だ捕まえていない創造主が、どこかに残っている可能性があるようです。

エンソフを通して彼につながっているゲートを開くと、ひとつの空間に本物の創造主やマスター達が閉じ込められていました。

私は、第1評議会の創造主を呼び出し、彼等を助け出しましたが、一体誰が、創造主やマスター達をつかまえて閉じ込めたのでしょうか。

私達は、ピカフラッシュを使ってエンソフを操っているゲートを見つけました。そこに次元と空間を自由に行き来する魔法使いのような創造主の痕跡を見つけたのですが、とても逃げ足が速いので、第3評議会のスターピープルにお願いしてつかまえてもらう事にしました。

スターピープルが魔法使いのような創造主を捕まえ、そのゲートの一つを開くと、グルナレッド達が作っていたエネルギー適正装置とよく似た機械が発見されました。グルナレッドがこの装置を調べ終わると私達に報告をしてくれました。

「この機械は、私達のエネルギー適正装置とよく似ていますが、作用は反対です。この装置は人々に欲望を持たせ、闇のエネルギーを与える装置です。この装置を作動させる事で、地球や天の川銀河の人々のエネルギーが適正化される事を邪魔して、意識と感情の混乱を起こしていたようです。

私達は、まさかこのような機械が地球にあるとは知らず、人々のエネルギーが適正化されないのは、地球人がたくさんのネガティブなエネルギーを持っていて、エネルギーが適正化される時に、そのネガティブなエネルギーが噴出しているせいだと思っていました。しかしそうではなかったようです。」

魔法使いが逮捕される事により、この機械によって作り出された大きな闇が再び浮かび上がってきました。その闇は地球を覆いつくし、1人1人の人々の心の中にまで入り込んでいた闇のエネルギーでした。

私達はまず、その闇をクリアーにする事から始めなければなりません。私は、グルナレッド達が作ったエネルギー適正の機械を、急いで地球仕様に作り直し、地球の闇を地球で片付ける事ができないかお願いしました。

グルナレッドはしばらく考えて答えます。

「そうですね、第3評議会からだと、下の世界に行くにつれてエネルギーの質を落とさなければならないので、初めから、地球にこのエネルギー適正装置を設置したほうが早いでしょうね。

すぐに準備しますからおまちください。」

私達は、第3評議会の創造主のもとに行き、この現状を説明して「道を作り出す創造主」が生み出した創造主が物理世界に残っていないか、探してもらうように「道を指し示す創造主」にお願いしました。

しかし、彼等からは、真剣に闇に落ちた「道を生み出す創造主」達の仲間を探そうという気持ちが感じられません。

私はその理由を問いただすと彼等の答えはこうでした。

「私達は、この魔法使いのような創造主の存在が地球の物理次元に隠れている事を知っていましたが、TAKESHI さんなら、簡単に捕まえる事ができるだろうと思い、あなたがどのように処理するのか見せていただきました。」

第3評議会の創造主は、創造主のスピリットを持った者が地球上に降り立ったのだから、その光と能力で簡単に地球の闇を光に変える事ができるだろうと考えていた様子です。

第3評議会の創造主が、創造主のスピリットが地上に降りた時、地上でどのような活動をするのかという興味が先に立って、この魔法使いのような創造主を捕まえずに放任していた事が分かって、他の評議会の創造主やスターピープルの代表は怒り出しました。

彼等の興味によって、物理次元の天使や創造主、マスター達、そして多くのスターピープルと地球人が傷つけられているからです。

そして、スターピープル達が、地球のアセンションのために努力していた事も無駄になってしまいました。

私は、第3評議会の創造主の無責任さを問い詰めていきます。

第2評議会の創造主のリーダーである「栄光の創造主」も第4評議会の創造主も、第3評議会の創造主の無責任さや現実世界に対する認識の甘さを指摘しますが、彼等は長い間、物理

世界と離れていた所でのんびりと暮らしていたようですので、他の創造主の指摘を理解できないようです。

先日も、第3評議会の創造主である「道を作り出す創造主」が闇に落ち、私達の宇宙を奪い去るほどの部隊を準備していたというのに、全く呑気なものです。

私は、第3評議会の創造主を全員地上に降ろして、現実の地球がどれほど闇に満ちているか、そして、その様な世界の中で創造主としてどれほど活躍できるか、自分の光や力がどれほど役に立つか、自分で経験してもらう事にしました。

私は、第4評議会の創造主に許可をもらい、第3評議会の創造主は、地球の過去に行き、最低1000年以上は地球で生きる事を提案しました。

第3評議会の創造主は、遠い昔に物理世界に降りた事はあったとしても、もうすでにその時の記憶は失われているようですので、久しぶりに物理世界に行ける事をとても喜んで地球に降りていきました。

しばらくして第3評議会の創造主達は、心も体もボロボロになって帰ってきました。

全ての創造主達は、自分達の能力やパワーに自信を持って地球に降りていったのですが、思った通りにはいかなかったようです。

地球の闇に押しつぶされ、何度も殺されたり拷問に合ったり、言葉にできないほどの苦痛をあじわい、光を奪われる経験をして戻ってきました。

第3評議会の創造主は、全員がそろそろ自分達の経験をお互い情報交換しています。

そして、自分達がどれほど、地球の物理世界を甘く見ていたか、自分達の力を過信していたかという事に気づき、自分達が創造主として行っていた事が過ち出会ったと、私達に謝罪しました。

そしてこれから、本当に宇宙のために役に立つ創造主として生きる事を誓ってくれました。

第3評議会の創造主も、地球の闇を自ら体験する事で、自分達の無責任さや甘い考えを改めるように考えているようです。

スターピープル達は第3評議会の創造主達が考えを変えてくれたおかげで、天の川銀河の困難な状況に終止符が打てるかと喜んでいますが、あまりにもお粗末な第3評議会の創造主の言動に本当に信頼が持てるか疑っているスターピープル達もいます。

PART5 宇宙連合の会議 光 50%以上の世界にシフトしていく計画

翌日の 23 日、私達は、地球のアセンションについて、今後の計画を決める為に第 1 評議会～第 4 評議会合同の会議を行いました。

私が先ず、私達と地球の現状について話をします。

「私達は、多くのスターピープル達と共に、第 3 評議会の闇の創造主を片付け、また彼が新たに生み出した闇の創造主や凶悪なダークピープル達、宇宙に対する破壊兵器等も処理して、この地球のみならず、天の川銀河から、闇の創造主に関わる存在を片付ける事ができました。

しかし、彼らは非常に悪知恵を持っており、地球の物理世界にも未だ仲間を隠している可能性もあります。

先日も、魔法使いのような創造主が、地球の人々をダークエネルギーで満たす機械を操っていました。

しかし第 3 評議会の創造主はその事を知りながらも、私達を光 49%以下の世界に留め、あえてその創造主達の処理を行なわせました。

私や恵理の体や生活に対しても、地球人を使ったダークピープルや闇の創造主達の攻撃はとどまらず、非常に苦しい状況に追い込まれています。

私の体も様々な攻撃から痛手を追い、私が経営する会社からも多くのスタッフが離反し、来年には、会社倒産も免れない状況です。

これでは子供をより良い環境で育てる事も出来ないし、スピリチュアルな仕事もできなくなります。

また、私達自身が、物理世界の困窮やダークピープル達の攻撃により 40%の世界に引きずり込まれ、光 50%以上の世界に行く事ができなくなる可能性が強くなります。

今回のように、創造主達が、私を光の少ない世界に留めて、アセンションする世界に私達が入れなくなると、地球のアセンションそのものが失敗に終わる可能性も出てきますが、皆さんのように思われますか。」

第 3 評議会の創造主を除いて、私のその様な現状に対して皆さん同情的であり、ここまでお世話したのに、あいかわらず愛の度数が高くない地球人に対して失望しています。

第1評議会の創造主が発言します。

「TAKESHIさん達が、これ以上、40%台の世界にいる事は時間の無駄ではないでしょうか。私達は、「光の地球」を生みだし、愛の度数が高い人は新しい地球に送りこみました。決して人数は多くありませんが、そこではもうすでに「光の地球」が育ちつつあります。そして次の私達のターゲットは、これから「光の地球」にはいる予備軍を育てる事です。私達は、「光の地球」に行く可能性がない人達をフォローするよりも、すぐにでも光50%以上の世界に移り、「光の地球」に行く人達を育て、ある程度の数になったら、TAKESHIさんともども、光の地球に行くほうが良いのではないかと思います。」

多くの創造主とスターピープル達は、この意見に賛同しているようですが、第3評議会の創造主達は、反対ではないようですが、どこか不満足の様子です。

第3評議会の創造主は、創造主の光を持った者が物理世界に降りる事で、その光で多くの人々を救い、光の世界に導けるはずだと考えていたのですが、自分達が実際に地上に降りてみて、自分達がいかに無力か、闇が多い世界では光を持っていれば持っているほど虐待され、光を奪われるという事を痛感したのです。

しかし、彼らは、光ある人々をもっとたくさん地球から救い出し、光の多い世界へ連れていけるはずだと考え、私達の意見に不満を持っているのです。

しかし、自分達のスピリットをもってしても地球の人々を導く事ができなかった事を認め、闇の地球を諦めて、光50%以上の地球に私が行く事にしぶしぶ同意しました。

第4評議会の創造主も発言してくれました。

「私達、創造主が、TAKESHIさんと恵理さんを地球に降ろした理由は、現状の地球から多くの人々を光の世界に導く事が目的でした。

しかし、私達には、地球の物理世界が今まで見えていませんでした。

通常であれば、スターピープル達が、私達に物理世界の現状を報告してくれるのですが、第3評議会のスターピープル達が、闇の創造主達によって捕まえられていた事により、下部の宇宙の状況が全く分からない状況だったのです。

今回、TAKESHIさんや恵理さん、スターピープルを通して地球の現状を見た時に、自分達が思っていたよりも、はるかに闇が多く困難な世界である事に気づきました。

しかしその中で彼等は、地球の物理世界のダークピープルや闇の創造主を処理し、第1評議会の中で、闇の創造主の世界を作りあげていた闇の創造主、光の創造主の中でも闇に堕ちた創造主を処理してくれました。

更に第2評議会の創造主戦争の闇のなごりに惑わされた評議会議長を始め、多くの創造主達も処理してくれました。

また第3評議会の闇に堕ちた創造主とその巨大な部下達も見つけ宇宙の危機を救ってくれました。

地球のアセンションも、光の世界に行く人々は予定よりも少ないけれど、確実に光の地球は生まれ、世界は区分されました。

私達は、この事を評価し賞賛したいと思います。

彼等をこれ以上苦しめる事なく、光50%以上の世界に送り、最も大切な仕事に専念させたいと思います。」

第4評議会の創造主も、私達の意見に納得してくれたようです。

その時、大きなネガティブなエネルギーが、私達を襲ってきました。

私と恵理さんの体に痛みが出るとともに、第3評議会以上の創造主やスターピープルとの間のつながりが遠くなり、会話ができなくなったのです。

私達に送られたエネルギーを分析すると、先日つかまえた闇の魔法使いが作った人々のエネルギーを闇のエネルギーに変換する機械が、さらに物理世界に適応できるようにつくり変えられ、40%台の世界に隠されてスーパー・ダークピープル達が操っていた事が判明しました。私達が創造主の意図によって、未だ光49%の世界に留められていたために、彼等の攻撃を直接受ける事になったのです。

この機械によって、グルナレッド達が作ったエネルギー適正化装置の効果が打ち消され、天の川銀河全域の人々に作用すると、人々の闇のエネルギーが高まる事になります。

すぐに第1評議会の創造主とロッド星人やアシュタールのメンバーが駆けつけ、機械を分解し操作不能にしましたが、この世界にすでに、この機械が持ち込まれていた事に各評議会の創造主やスターピープルも愕然となりました。

私は、グルナレッドにお願いして、即急にこの機械によって生み出された物理世界の闇のエネルギーを解消するために、グルナレッドの機械を物理世界で少しでも早く稼働できるようにお願いしました。

グルナレッドも、すばやくこの物理世界の闇を消すために、私の意向に賛成してくれたますが、やはり第3評議会の世界にある機械を第2評議会、第1評議会、そして物理世界とエネルギーの質を変換させながら、作り変えていかなければならないので、2~3日の時間が必要であると、皆さんに説明を行っています。

地球時間で言えば、今週末である11月26日には稼働し、12月の始めには、この機械が作り出した闇を処理できる見込みであると伝えてくれました。

人々のエネルギーを闇のエネルギーに変換する機械を処理する事で、私達の意識は、第3評議会以上の創造主やスターピープルと再びつながったので会議を再開しました。

「これも第3評議会の創造主が「道を生みだす創造主」を見逃し、彼によって多くの手下が地球や様々な宇宙に入り込んだ結果です。

その事を、自分達が責任を持って処理するつもりがあるのですか、第3評議会の創造主達よ、教えてください。」

私は、第3評議会の創造主達にきつく詰め寄ります。

第3評議会の創造主達は、上位の第4評議会の創造主がいる手前「はい」と答えざるおえないようですが、その対応に、再び他の評議会から批判が集まります。

全評議会の合意のもとに、私と恵理さんは、12月中旬には光50%以上の世界に移る事となりました。

また、第3評議会の創造主や第4評議会の創造主が気にしている光40%から光50%の世界に関しては、当初の予定どおり、これからも私以外のチームで関わり、人々を光の世界に連れて行くための努力をする事を私は提唱しました。

「私は、新たな提案をしたいと思います。

光40%台の世界はアセンションする世界から切り離されますが、地球にとっては重要な世界である事に間違いはありません。

私達のチームも多くはアセンションした世界に向かいますが、新たにチームを作りこの世界の人々を指導していったらどうでしょうか。

特に第3評議会の創造主達は、これらの世界に深く興味を持ち、この世界の人々を救い出したいと考えていますので、すべての第3評議会の創造主のスピリットの一部を地球の物理世界におろし、今まで私が1人で行ってきた事を、全ての創造主のスピリット達が複数で取り組んではいかがでしょうか。

今迄の混沌とした闇の世界に比べて、ほとんどの闇の創造主や女神、マスター達は処理してありますので、問題は人間の意識をどう変えるかという事に焦点が絞られると思います。しかも、地球人の事は、私達と共に活動してきたスターピープル達によって、多くの研究がなされているので、さほど難しくはないはずです。」

スターピープル達も全力で協力しますと言ってくれましたし、多くの創造主も私の提案を喜んでくれました。

第3評議会の創造主もしびしび承諾し、どのような形で地球にスピリットをおろし、どのように活動していくかを協議する事となったようです。

今回の会議で、私と恵理さんは、12月の中旬に光50%以上の世界に入り、その世界を中心に活動する事と第3評議会の創造主達が、自分達のスピリットを地球に降ろし、光50%以下の世界を担当する事が決定しました。

第5章 地上に隠された第3評議会の闇の創造主達

PART1 闇に落ちた「適切なエネルギーを作り出す創造主」

11月もどんどん過ぎ去り26日になりました。

前回の会議では、第3評議会の創造主達は、自分達のスピリットの1部を地上に降ろす事になっていましたので、その計画もだいぶ進んでいるようです。

彼等のスピリットの一部達が、どのような人生を送るのか楽しみです。

最近、私達の身の回りでは妙な現象が起きています。

どうもこの世界の人ではない存在が目に入るようになってきました。

私の家にも現実ではない女性の姿が現れるようになってきたのです。

確かに私の親戚の1人の体調が思わしくないのも、このような現象が起きているとも考えられるのですが、不思議に思い調べると、黄泉の世界のゲートがいくつも開いていました。

そして、この地球での人生を終わり、肉体を失った人達が、この地球での生活に執着して、この世界をうろついている様子が見受けられます。

黄泉の世界を統治する「月の創造主」に様子を聞くと、最近の大きなエネルギーの変化により、黄泉の世界も混乱しているように思われるという事でした。

しかし、大天使アズラエル達や黄泉の世界の守護者であるマーベリック達に調べてもらおうと、黄泉の世界の人々を操って私達や光を持った人々の光やエネルギーを奪っている存在がいる事も明らかにされました。

これはいつもの事ですが、黄泉の世界は良く闇の創造主達やダークピープルに利用されやすいのです。

私達も、黄泉の世界の中に入って調べると、ダークピープルと一体となった人達が、黄泉の世界の住人に関与して手引きをしているようです。

彼等を、黄泉の世界の人々と切離しゲートを閉じていくと、以前黄泉の世界を統治していた「月読みの尊」が現われました。

彼は以前、闇のエネルギーに惑わされてしまい、私達に光に返されたのですが、再び「月読みの尊」が復活して黄泉の世界の人々をコントロールしているのです。

私達は、すぐに「月読みの尊」を光に返し混乱を収めました。どうも彼等を操っている存在がまだいるような気がして探します。

すると、黄泉の世界の奥底に1人の創造主が隠れている事を発見しました。

その創造主をみてグルナレッドが驚きの声を上げます。

それは、もともと第3評議会の創造主であった「適切なエネルギーを作り出す創造主」のなれの果てだったのです。

グルナレッドは落胆したような表情をして私達に報告してくれます。

「この創造主は「適切なエネルギーを作り出す創造主」と呼ばれていた創造主です。

彼は私達と共に、この宇宙に適正なエネルギーを流すための機械を操作し、そこに光に満ちたエネルギーを流すのが仕事でした。

しかし「道を作り出す創造主」が闇のエネルギーに捕らわれるとその影響で彼等も闇のエネルギーに侵されるようになってしまったのです。

そして「適切なエネルギーを作り出す創造主」は、闇が深くなるにつれて第3評議会の創造主からどんどん次元を落としてついに、地球の黄泉の世界の中に落ちてきたと思われます。」
グルナレッドは、かつては自分達のリーダーであった創造主の姿を見て苦しんでいるようです。

「彼はここから、闇のエネルギーを使い、黄泉の世界の住人を使って、地球に生きている人々へも様々な影響を及ぼしているようです。

本来は、この宇宙に多くの光のエネルギーを流す役目をする創造主が、今は黄泉の世界で人々を闇の中に捕え利用していたとは、私達にとっても悲しい話です。」

私は第3評議会の「道を指し示す創造主」を呼び出し、この創造主の事について尋ねました。

「私達は、第4評議会の創造主様に、「適切なエネルギーを作り出す創造主」を光に返すようにと言われたのですが、学びの世界で学ぶ事によって闇を乗り越え元の創造主に戻るだろうと期待をして、彼を光に返す事はしませんでした。

しかし、彼の闇が深くなるにつれ、私達は彼を見失い、彼の所在が分からなくなってしまったのです。」

「道を指し示す創造主」は、また自分達の失敗が明らかにされた事に大きな屈辱を感じています。

しかし私達にとっては、第3評議会の創造主の屈辱など問題になりません。

自分達の地球が脅威にさらされる事になるのです。

私達はすぐに第4評議会の創造主を呼びだしました。

第4評議会の創造主は、行方不明になっていた創造主が見つかって安心していましたが、自分達の予想を超える変化にショックを受けていました。

そしてこの創造主を、自分達の指示に背いて光に返さなかった、第3評議会の創造主をきつく戒めています。

「適切なエネルギーを作り出す創造主」のゲートを開くと、第3評議会の創造主のサポートを行っていた創造主やたくさんの存在達が、彼の闇の中に捕まっていたので解放していきましました。

その中には、恵理さんと関係が深い創造主のサポートをする者達もいて、彼女達がもとに戻る事で、恵理さんの創造主も本来の仕事ができるようになりました。

しかしこの「適切なエネルギーを作り出す創造主」の存在に気づかなければ、彼が黄泉の世界の住人を利用して、光を持っている人々を黄泉の世界に引きずり込み、精神疾患や自殺などに巻き込んだ可能性もあります。

死の世界に興味を持つ人達を操り、現実世界に次々と黄泉の世界のゲートを開いて、光51%以上の世界にも、黄泉のエネルギーを流して混乱を起こしたかもしれません。

そうなれば、私達のアセンションも振出しに戻ってしまいます。

私はそのあと第4評議会の創造主と話をすると、第4評議会が、第3評議会の創造主に、闇にまぎれた為に光に返しなさいと言った創造主が4人いた事が分かりました。

先ほどの「適切なエネルギーを作り出す創造主」もその中の1人でしたが、残りの3人も第3評議会の創造主が本当に光に返しているか不安である。と第4評議会の創造主は、私に言いました。

私は、第3評議会の創造主のリーダーである「道を指し示す創造主」に、残りの3人の創造主の事について問い詰めると、1人は改心の余地がないという事で光に返したが、他の2人

の創造主は、実績を持った創造主だったので、やがて学びを終えて戻ってくるだろうと判断し光に返さなかった事が判明しました。

そしてお決まりですが、その2人の創造主に関しては見失ってしまい、どこにいるのかもわからない状態だという事です。

おそらく残り2人の創造主もやがて出てくるだろうと思われませんが、一体何が起きるか、第1評議会と第2評議会の創造主とスターピープルは臨戦態勢に入ります。

PART2 地上に隠された第3評議会の闇の創造主達

翌27日、この日も私は頭が痛い状態が続いています。

しかし今度は首ではなく脳神経がズキズキする感じに変わってきています。

私は、これはサイキックアタックなのではと疑い調べてもらいますが、グルナレッドは、適正なエネルギーが地上に降りてくる事で、予想しないような反発のエネルギーが生まれているせいではないかと言います。

私は、反発しているエネルギーをいくつかのエネルギーパターンに分類してさらに細かく調べる事をグルナレッドに指示しました。

それと同時にピカフラッシュに、私の頭に送られてくるエネルギーの発信元を探してもらうと、混乱したエネルギーの渦の中に闇に堕ちている創造主が隠れているのが発見されました。

私はすぐに第3評議会の創造主と第4評議会の創造主を呼びました。

第3評議会の創造主は、自分達の屈辱を乗り越えてあきらめムードです。

「この創造主は、第4評議会の創造主様から光に返しなさいと言われた創造主の1人で「運命を司る創造主」と呼ばれている創造主です。

彼は生命あるものの運命を自由に司る事ができる創造主でしたが、闇に落ちる事により、正当な創造主としての仕事をする事ができなくなり、闇の力を使って人々の生命や運命に介入していました。

その結果、まだ生きる予定の者を早く死なせたり、生まれる予定がない者を生まれさせたりする事が起きてしまったのです。

おそらくこの地球でも、人々の運命や人生が狂わされる事が多くなり、しっかりとした学びを行う事も妨害されるようになったと思われます。」

まさにその通りです。

地球の人々も自分が行うべき学びが邪魔されて闇に落とされたり、まだ生きるべき者達が予定よりも早く死んだりする事が多くなったと第1評議会の創造主達も言っています。

彼を捕まえると共に彼のゲートを開き、彼の仕事を手伝っていた創造主やダークピープル達も捕えました。

そして「運命を司る創造主」のゲートから、もう1人、地球の闇のエネルギーをコントロールしていた存在も見つかりました。

私は、この創造主について説明してくださいと、第3評議会の創造主に冷たく言いました。第3評議会の創造主は第4評議会の創造主の視線を気にしながら話し始めました。

「この創造主は「神々を作り出す創造主」とよばれ、物理世界に関わる創造主や神々、女神などを作り出す創造主でした。

彼が闇に深く染まる事で、この物理的な宇宙に、闇をもたらす創造主や怒り、憎しみなどに満ちた破壊や殺戮を好む創造主や神々がたくさん生み出されました。

そのために地球のみならず天の川銀河や宇宙が多くの争いや破壊に巻き込まれる事となったのです。

私達も「神々を作り出す創造主」がいなくなってしまうとは、大変な事になると思い、彼を光に返さずに、私達の祈りの光で彼を清めていましたが、彼の行いは更にひどくなり、いつしか、私達の前から姿を消してしまったのです。」

第4評議会の創造主達も他の評議会の創造主やスターピープル達も、第3評議会の創造主達の無責任さにあきれています。

もうすでに彼等は、他の評議会の者達から創造主としての資格を剥奪すべきであるという声も出ています。

私達も、アセンションを進める中で、何度も「破壊の創造主」や「殺戮の創造主」「情念の女神」達に私達のいく手を遮られてきました。

彼等を創造主にお願いして光に返したとしても、また少し経つとさらに強力な存在として復活して、私達の活動を妨害してきたのです。

その原因も闇に落ちた「神々を作り出す創造主」によって「破壊の創造主」達が何度も作り変えられ、地球のアセンションを妨げる為に、私達のもとに送られてきたためでした。

闇に落ちた「神々を作り出す創造主」によって作り出された神々や存在達は数多く存在しているようです。

特に、初めからダークピープルとして存在していた者達は、この創造主によって生み出された可能性も大きいと思われます。

私達は、闇に落ちた「神々を作り出す創造主」を捕まえる事で、彼が生み出した存在を一気につかまえる事にしました。

第1評議会から第4評議会の創造主とスターピープルが、全員協力して彼によって作り出された存在を探し出して光に返していきます。

彼のゲートを開き、彼につながっている世界を探索するだけでも大変です。

この仕事は、終了するまでしばらくかかるかもしれません。

それまで、第4評議会の創造主に「神々を作り出す創造主」を見張っててもらい、彼の持つゲートを順番に調べていく事になりました。

これで第4評議会の創造主達が心配していた3人の創造主がすべて捕まり光に返される事となりました。

PART3 「宇宙の創造を管理する創造主」と「闇のアメーバー」

その日の夜、私はさらに強烈な頭痛に襲われました。

最近続いている創造主からのサイキックアタックで私もかなり疲れはててきました。

早く光50%以上の世界に逃げ込みたいと、何度も思いましたが、12月15日ころまでは我慢して、物理世界をきれいにするために働かなくてははいけません。

私はいつものように、ロッド星人やグルナレッドを呼び出し、ピカフラシュに頼んで調べてもらいますが、かなり奥深い次元に隠れているようで、なかなかピカフラシュがたどり着く事ができません。

私は、意識を集中して、私の本体である第5評議会の創造主と意識をひとつにしていきます。

第5評議会の創造主達は、いくつもの宇宙を調べる事が役目のようですから、探査能力にたけています。

私は、自分の意識を創造主にゆだねると、いくつもの次元を通り越して探査していきます。すると、1人の古い存在が闇そのものとして存在している場所に行きあたりました。姿形ははっきりとは見え、目だけがギラギラと光っている様な恐ろしいエネルギーです。

私はすぐに第3評議会、第4評議会の創造主を呼びだして、私達を守ってくれるようお願いしました。

この存在に関しては、グルナレッドもはっきりとはわからない創造主のようです。

私達は、この創造主の事を、第3評議会と第4評議会の創造主に尋ねました
第3評議会の創造主である「道を指し示す創造主」は、自分達の評議会に属する創造主ではないと言います。

エネルギー的に見ても、「道を指し示す創造主」よりもはるかに古い存在であるようにも思えます。

第4評議会の創造主は、この創造主の事を調べた後に、何かを思い出したようです。

「確かにこの創造主は見覚えがあります。

「道を生み出す創造主」達が闇の中に引き込まれるずっと前の時代に、第3評議会の創造主でありながら、闇に落ちてしまった創造主がいました。

現在の第3評議会ができる前の話ですので、「道を指し示す創造主」達が知らないのも当然の事です。

第4評議会の創造主は、この創造主を第3評議会の創造主に光に返すように言っていたのですが、第3評議会の創造主は、相手を信じるあまりに、光に返す事なく見守っていたようです。

しかし、彼の闇のエネルギーがさらに強くなると、第3評議会の創造主とも離反して、第3評議会の創造主からは見えない所になってしまったようです。

彼がここにいるという事はおそらくそうなのでしょう。」

第3評議会の創造主は今も昔も、お互いを信頼するあまり、闇に落ちた創造主を見逃して下部の宇宙に迷惑をかけているようです。

第3評議会の創造主も苦笑いをしています。

私は、第4評議会の創造主にこの創造主の役割を聞きます。

第4評議会の創造主もしばらく考え込んだ後に話し始めました。

「彼は、もともと創造主達が宇宙を創造する様子を管理し、創造に間違いがあればそれを修正する役目を持つ創造主だったのです。

宇宙の創造に関してはかなり詳しい知識と実行力を持つ創造主で「宇宙の創造を管理する創造主」と呼ばれていました。

おそらく「道を生み出す創造主」達が、ここまで深い闇に落ちていったのもこの創造主の仕業であったかもしれません。

この時期に、彼が現われたという事は、他の3人の創造主を従え、地球だけでなくこの宇宙を混乱に陥れ、「道を生み出す創造主」達と共に、この地球や宇宙全体を奪うつもりだったのではないかと思われまます。」

私達は、良くもこんなにたくさん闇に落ちた創造主がいるものだとかきれています。

「それでこの創造主は、ここで何をしていたのでしょうか。」と私は尋ねます。

第4評議会の創造主は、闇に落ちた「宇宙の創造を管理する創造主」と会話をしています。

闇に落ちたとはいえ、自分よりも上に位置する創造主には逆らえないようです。

「彼は、創造主の世界から地球や物理世界に降ろされた人々やスピリットの活動を妨害して、地球と宇宙を混乱に貶めていたようです。

多くの創造主のスピリットが今までこの地球に降ろされ、地球に光をもたらすために働こうとしていたのですが、光を持った者はすぐに「宇宙の創造を管理する創造主」に見つかってしまい、光を奪われていったのです。

そのために、それらの人々は現実世界で、自分の仕事を全うする事ができず、悲惨な人生を歩まされ、時としては、若いうちに殺されたりしたのです。」

その話を聴いて、第3評議会の創造主は、えっ！という顔をして第4評議会の創造主に尋ねました。

「私達が地球に降り立った時、私達の能力が発揮できず、拷問にあったり、悲惨な人生を何度も送られたのは、この創造主が、裏で私達の光を奪っていた為ですか。」

「おそらくそうでしょうね、それも皆さんの先輩である第3評議会の創造主達が、闇に落ちた創造主を光に返す事をせずに見逃してしまったためです。」

第3評議会の創造主達は、自分達がした事を忘れて、前の第3評議会の創造主達に怒りをぶつけています。

ロッド星人とグルナレッドは、その様な創造主同士の会話を呆れながら聞いています。

「それでは、早く仕事に入りましょう。

創造主様、彼につながるゲートを開き、彼と協力関係にある創造主や神々を探し出し光に返していきましょう。

きっと彼等の手下がたくさんいると思いますよ。」

私達は、各評議会の創造主とスターピープルに集ってもらい、「宇宙の創造を管理する創造主」のゲートを開いてもらい、彼に関わっている存在を処理する事にしました。

いくつかのゲートが開けられ、様々なダークピープルや闇に落ちた存在達が見つかり、光に返されたり、光が少ない世界に分離されていきました。

しばらくして、スターピープルの1人が不思議な存在を発見しました。

それは、この創造主が作りだしたもので「アメーバー」の様な存在です。

それを見たグルナレッドが急に叫びました。

「肉体を持っているスターピープルはすぐに退去してください。

このアメーバーは、肉体を持っている存在の中にかってに入っていく増殖するアメーバーです。」

彼の言葉に、第1評議会のスターピープル達は一斉に逃げ出しました。

「TAKESHIさん、私の記憶に間違いがなければ、このアメーバー状の物は、生命あるものの中に勝手に入って行きます。

そしてまるでウイルスのように多くの人々に感染し、人々の体の中に入って闇のエネルギーをその人に呼び込むのです。

このアメーバーは、人々に対して、欲望を掻き立て光を嫌うようにする働きをもっています。

そして、体の中深く入り込み、その人の一部として存在するためにとり除く事は不可能なのです。

このアメーバーには個性はなく、まるで人工知能のように、すべて集合意識のもとに動いています。」

私は、クラクラとめまいがするような感覚です。

闇の存在達は、どれほどの仕掛けと罠を現実世界に作り上げているのでしょうか。

これでは地球人がいくら努力しても、闇の世界から抜け出すのは不可能のようにも思えます。

「グルナレッドよ、この「闇のアメーバー」を人々から取り除く事が不可能であれば、彼等の集合意識を書き換えて、光を嫌うプログラムから闇を嫌うプログラムに作り変えるようにできないでしょうか。」

グルナレッドはしばらく考え込んでいます。

「出来ない事はないと思いますが、プログラムの書き換えに失敗したときは大変な事になるかもしれません。

おそらく地球人のほとんどの人達に、この「闇のアメーバー」はついているでしょうから、このアメーバーの働きを止める事が安全かもしれません。」

このような事が得意なのは、第2評議会のエリシタール達なのですが、この「闇のアメーバー」の技術は、第3評議会の技術を応用したものなので、第3評議会、第4評議会の科学部門のスターピープル達が合同で「闇のアメーバー」の研究をするようになりました。

後で調べたところ、この「闇のアメーバー」は、ディセンションしたダークピープルや愛の度数が未だ低いスターピープル達にも伝染してついている事が分かりました。

もし、ダークピープルやスターピープルになりきれていない種族から、この「闇のアメーバー」を取り外す事ができれば、彼等もスターピープルとして目覚めていく事も可能なようです。

創造主とスターピープル達は、「宇宙の創造を管理する創造主」のゲートを全て調べ終わった後に、彼も光に返したようです。

しかし、「宇宙の創造を管理する創造主」を筆頭に、「道を作り出す創造主」の部下達である「適切なエネルギーを作り出す創造主」「運命を司る創造主」「神々を作り出す創造主」

というとても重要で力を持った創造主達が地球の物理次元に隠れていた事に、私達は戦慄を覚えました。

もし彼等が、「道を作り出す創造主」の部隊と共に、私達の宇宙に攻め込んでいたら、私達の宇宙はすぐにでも崩壊していた事は間違いないようです。

PART4 「光を奪い取るアメーバー」

50%と 51%の世界の分離を前に、創造主とスターピープル達は、この地球に残る闇の創造主や闇のエネルギーを一掃するための最終的な処理に入りました。

問題は、第3評議会の創造主であった「道を作り出す創造主」の企てにより作り出された闇の創造主達が、この物理世界に残っていないかどうか、という事です。

先日は、「道を作り出す創造主」の仲間である「適正なエネルギーを生み出す創造主」「運命を司る創造主」「神々を作り出す創造主」の創造主をつかまえ光に返す事ができました。この4人の創造主は、第3評議会の中心的なメンバーでもあり、特に大きな力を持っていた創造主です。

しかも「道を作り出す創造主」よりもさらに大きな力を持っていた「宇宙の創造を管理する創造主」がこの4人を操っていた事もわかり、地球と全宇宙は壊滅的な被害を受ける直前でした。

私達は、これらの創造主に関係する創造主や神々、ダークピープルやエネルギーを地球の物理世界や他の次元まで含めて隅々まで探し回りました。

その結果、ヒーリングやスピリチュアル界を裏で操る創造主、人身売買や売春、麻薬や銃器の密売などに関わっている闇の存在等もたくさん発見しました。

そして、これらの世界を作り出している創造主やダークピープルを光に返し闇が多い世界へと分離していきました。

もちろん、そこに捕らわれている多くのスピリット達も開放していったのです。

しかし、その過程で非常に厄介な存在がまた見つかりました。

先日見つけた「闇のアメーバー」と同じような存在なのですが、今回見つかったのは「光を奪い取るアメーバー」でした。

これも、第3評議会の闇に堕ちた創造主によって作り出された物ですが、私の体にもたくさん入っており、11月になって、ずっと首や後頭部が痛かった大きな原因が、この「光を奪い取るアメーバー」と「闇のアメーバー」の作用であった事もわかりました。

「光を奪い取るアメーバー」は、光を持つ人達に取り付き、その光を奪い取る事で体調不良を起こしたり、純粹で愛に満ちた考えや行動ができないようにしていきます。

「光を奪い取るアメーバー」に長い事取りつかれると、自分自身の生命力や自然治癒力も失われ、自分自身も誰かの光を奪い取りたいと考えるようになります。

そして、誰かに依存したりエネルギーを奪うような行動に走らせるのです。

そしてその後「闇のアメーバー」が取りつき、その人の欲望を掻き立て、愛や優しさとは遠く離れた世界へ導いていくのです。

「闇のアメーバー」に取り付かれた人の中には、やがて光を嫌いダークピープル達と共に活動するようになる人達も出てきます。

言うならば、闇の世界の使い人になるためのコントロールチップのような物です。

私達はこの2つのアメーバーを見つけた時、絶句しました。

このアメーバーは、アメーバー自身の意思でどんどん広がっていきますので、ほとんどの地球人のみならず、肉体を持っているスターピープル達からも発見されました。

もちろんダークピープルに落ちていった者達の体には、必ずこの2つのアメーバーが入っている事は間違いありません。

私達が、第3評議会の闇の創造主達を光に返した事で、この2つのアメーバー達が表に浮かび上がり、私達の目に見えるようになったのです。

スターピープルのリーダー達も、驚いてすぐに自分達のグループのメンバー達を調べると、やはり物質的な肉体を持つスターピープル達からはこのアメーバー達が少なからず発見されました。

元々は同じスターピープルだったのに、オリオン人のように、やがて愛を持ったスターピープルになる者達と愛を失ってダークピープル達に別れる者達が出てきたのですが、その原因はこの2つのアメーバーの活性度の違いにあったようです。

私達は、「闇のアメーバー」と同じように、各評議会の科学部門のスターピープル達と協力してこのアメーバーの対策を行う事になりました。

私達が、この2つのアメーバーを調べていると、まるでアメーバーの集合体のようなグロテスクな姿をした得体のしれない存在が突然現われました。

グルナレッドは、いち早くその存在に気付くと、物質的な体や半物質の体を持っているスターピープル達をすぐに退去させました。

そして第1評議会のスターピープル達が影響されないように、第3評議会のスターピープル達でこの存在をつかまえました。

この存在を調べると、私達が発見した2つのアメーバーを増殖させ、地球や他の星々にばらまいていた存在である事が分かりました。

この存在は、「宇宙の創造を管理する創造主」から生み出された存在のようですが、急に自分の親である「宇宙の創造を管理する創造主」がいなくなったために、彼を光に返してきた私達を襲ってきたようです。

私達は、第4評議会の創造主にお願いして、この存在の力を奪い去り、この存在が関わっているいくつかの次元を調べます。

それはこの2つのアメーバー以外の物を生みだしていないか、どれだけ多くの世界にこのアメーバー達をばらまいているか調べる為です。

特に科学技術に優れたスターピープル達が中心となって、この存在が関わっている世界を調べています。

地球だけでなく、どのような星々に、この存在が関わっているか調べる事で、その星々を救う事が出来るからです。

そして、その調査が終わるのを待って、この存在は光に返していきました。

このようにして、地球の物理世界をしっかりと調べ終わると、私も光49%の世界から、少しずつ光の度合いを強め上の世界に上がっていきます。

なぜなら今夜が、光 50%の世界を完全分離する期限なので、これから先は、たとえ私であっても、光 50%以下の世界には関わる事ができなくなります。

この日の夜は創造主とスターピープル達がかを合わせて、アセンション最大の難関である光 50%の世界の上下で完全分離に入ります。

第6章 これから行われる地球の分離について

PART1 これから行われる地球の分離について

11月ももうすぐ終わる時期になると、私達は、宇宙連合の第1評議会から第4評議会の創造主やスターピープル達と合同でアセンション会議を行う事が増えてきました。

地球のアセンションの最終期限は、今年2016年の12月末日頃なので、この時期までにどのような事を行うか、現状の問題をどのように解決して最善の結果を出すかという事を細かく話し合っています。

その中で最も大切な事は、残された地球のいくつもある次元をいつ分離していくかという事です。

その最大の分離は、光50%以下の世界と光51%以上の世界の分離です。

この世界の分離は光が多い世界と闇が多い世界の分離となりますので、どちらの世界にいるかという事で、後の人生が大きく変わってくる可能性があります。

光50%以下の世界では、闇のエネルギーが大きい創造主やダークピープルが、その世界を支配しますので、そこに生きる人々は大きな闇のエネルギーを乗り越える為には、大変な努力を要します。

それができずに、惰性に流されていく人々は、どんどん闇に飲み込まれていき、それ以上の世界に入れなくなります。

光51%以上の世界に入る人は、光が多い創造主やスターピープル達が多い世界に生きる事になりますので、自分をしっかりと見つめて努力していく人は、やがて何度か転生しながらでも光56%以上のアセンションした光の世界に入る事ができます。

しかし、たとえ光51%以上の世界に入ったとしても、ここは学びの世界でもありますので、様々な障害を自ら乗り越えていく必要があります。

光56%以上の世界が、本当のアセンションした世界となりますので、皆さんがアセンションするための具体的な学びを行う為の世界となります。

この世界で学びを進めていく人達は良心的なスターピープルやマスター達と出会い、彼等のサポートを受けて、新たな地球人として進化していく事でしょう。

そして階段をひとつずつ登るようにして、光 59%の世界に入り、その世界の学びを終えると、光の地球に入っていきます。

これらの世界の細かい分離が終了する時期が、2016 年末となります。

完全な世界の分離が終わると、肉体を持って他の次元に行く事はできなくなりますので、皆さんが学びを得て成長したら、肉体を捨てて生まれ変わるときに他の次元の地球に入る事になります。

つまり、自分が生きている時に、自分と向かい合い意識を成長させ、愛の度数が上がったら、今までいた世界よりも、光が多い世界に生まれ変わりますし、自分の欲望に負けて自己中心的な生き方をすると次の人生では、今の世界よりも闇が多い世界へと生まれ変わります。言うならば、自分が適した世界に生まれ変わる事になるのです。

今年は、皆さんには多くのチャンスが与えられました。

スターピープルや創造主達の働きにより、様々な闇のエネルギーから皆さんは解放され、束縛されていたスピリット達も取り戻されてスピリットの統合をはたして行きました。

特にこの 11 月からは、光の世界と闇が多い学びの世界との完全分離を直前に控え、私達も皆さんのスピリットから光を奪い取るアメーバーのような存在や皆さんを闇の世界に導くようなエネルギーをすべて処理してきました。

そのために、光が多い世界で生きたいと考え、そのための努力をしている人には、大きなエネルギーの変化が起きています。

スターピープル達は、皆さんの変化を見て、光が多い世界に上がって行けるのか、現状の闇が多い世界にとどまるのかを判断します。

そして、多くの闇のエネルギーから自由になる事で、皆さんの心の本質に光が戻り、愛の度数が高くなった人達は、光の多い世界へと再度振り分けられます。

2016 年までは、このように、皆さんが生きている世界とスターピープル達は直接関わる事ができましたが、完全な分離の後には、光 51%以下の世界には、直接関わる事ができなくなります。

来年からは、自分の人生をしっかりと見つめて向上心を持って生きる事で、次の人生に生まれ変わるとき、今の地球よりも光が多い地球に生まれ変わるので。

私達は、これから光50%以上の世界の人達のお世話を中心に行う事となります。

この世界は、光の地球に行くための準備を行う為の世界ですので、スターピープル達のファーストコンタクトや直接的な指導が行われる世界です。

そしてここで、宇宙の事やスターピープルの事などを学び愛の度数を高めた人達は、今回の人生の中でも、光の地球へと移り変わる事ができます。

注 その後様々な闇の創造主の妨害によってアセンションする世界や物理世界は混乱させられ、現在のアセンションの最終期限は2019年末となっています。

しかも、光51%以上の世界に地球人を導くことが現在の目標です。

その後、51%以上の世界で人々が学びを進め52%、53%の世界へと進んでいく事になります。

創造主評議会の詳細

○各評議会の創造主について

	創造主の役割 アセンションを妨害する理由
第17評議会	<p>物理的な宇宙を管理する最高責任者。 5人の創造主がひとつの意思に基づいて動いている</p> <p>私達の宇宙を光に満ちた宇宙にするために、地球のアセンションを通して創造主達を再構成しようと考えていたが、「変化の宇宙」の創造主達の介入により予定が大きく狂ってしまい、地球のアセンションは混乱した。 それを収拾する為に物理世界にも介入してはたらいてくれている。</p>
第16評議会	<p>創造主達の指導を行い、宇宙創造の管理を行う 私達の活動をサポートする「時と空間を司る創造主」もこの評議会の1人</p> <p>第17評議会によって第16評議会の中に、下位の評議会の創造主を成長させるために、あえて問題を引き起こす創造主達が作られた。彼等が「変化の宇宙」の創造主達により強化され、第17評議会も手におえない程に、凶悪化してしまい「すべての闇を作り出す創造主」を中心に私達の宇宙の支配をもくろみ、私達の活動に介入してきた。</p>
第15評議会	<p>物理次元を持つ宇宙に関わる最高次元の創造主。 アセンションを行うために私達を地球に降ろした創造主。</p> <p>異なる宇宙の創造主達にコントロールされて他の宇宙とのゲートを開く。</p> <p>第15評議会から出ていった創造主「全ての闇の宇宙を統括する創造主」により闇に満ちた宇宙が数多く作られ、地球のアセンションを妨害する為に多くの罠が仕掛けられる。</p>
第13評議会	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。</p> <p>5人いる第13評議会の創造主のうち3人が、「すべての創造主を指導する創造主」を生みだした創造主により意識をコントロールされ「すべての創造主を指導する創造</p>

	主」を擁護し、地球のアセンションを妨害していた。
第12評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。
	第12評議会のリーダー的存在である「すべての創造主を指導する創造主」が下位の評議会の創造主の働きを多様性のある宇宙を創るという事で擁護していた。そして自分もこの宇宙の実権を全て握るために、他の宇宙の創造主を巻き込みアセンションの妨害をおこなってきた。
第11評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者
	「感情に飲み込まれた創造主」が、「略奪の宇宙」「無機質の宇宙」「カオスの宇宙」などから高い能力を持つ創造主やダークピープルを地球に招き入れ、アセンションした世界の破壊をもくろむ。
第10評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者
	第10評議会の創造主達と対立する「混乱の宇宙を作った創造主」が地球にアセンションを妨害する為にさまざまな計画をめぐらし、自分達の宇宙の創造主を利用したり、他の宇宙からの創造主を招き入れる。
創造主の役割と墮落した理由	
第9評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて管理や指導を行う。
	「リセットの創造主」が、創造主の学びを行わせるために、下の創造主の正義感や判断力を忘却させ、混乱に陥れる。
第8評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。
	私や恵理さんと同じスピリットを持つ創造主が、宇宙の様々な世界の探査を行う。
第7評議会	第9、第10評議会に、下の宇宙の出来事を報告する「全てを見渡す創造主」が「リセットの創造主」により正義感を失われ、支配欲を持ち「怒れる創造主」を作ったり、宇宙を支配のための企てを行う。
	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。
第6評議会	「全てを見守る創造主」がリーダー
	上の評議会から闇を持った創造主として生み出された「怒れる創造主」が評議会に反乱を起こし全ての宇宙での闇の創造主の大元となる。
第6評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。

	<p>「全ての創造主の働きを持つ創造主」がリーダー</p> <p>「変化を促進する創造主」が、創造主を成長させたいという理由で宇宙に闇のエネルギーを流すが、本当の理由は宇宙の支配。</p>
第5評議会	<p>第4評議会が作った全ての宇宙を管理。「陽の働きを持つ創造主」がリーダー</p> <p>第4評議会の創造主達から騙されて闇に落ちた「暁の光の創造主」が下部の創造主の光を奪う。</p>
第4評議会	<p>1人1人の創造主が、独自に宇宙の原型を作り出し、スターピープルと下部の評議会に創造を委ねる。お互いの宇宙にはあまり関わらない。</p> <p>「光を生み出す創造主」と「力を生み出す創造主」が対立していたが共に闇の創造主となり、2人が手を組んで宇宙の支配をもくろむ。下部の評議会の創造主達を闇の創造主に仕立てあげていった。</p>
第3評議会	<p>「道を指し示す創造主」を中心に、第4評議会の創造主によって作られた宇宙の細かい部分を創造し運営する。他の創造主を信頼するあまり闇落ちた創造主を放置する。</p> <p>「宇宙の創造を管理する創造主」や「道を作り出す創造主」が闇の創造主となり、この宇宙を光の創造主から奪い取るために、闇の創造主達を地球の各地に配置しアセンションを妨害してきた。彼等は第4評議会の創造主に操作されていた。</p>
第2評議会	<p>「栄光の創造主」を中心に第3評議会によって作られた宇宙の創造と運営を手伝い、第1評議会の働きを管理し手助けを行う。様々な宇宙の中で大きな問題が起きた時はその解決にあたる。</p> <p>第3評議会の闇のエネルギーによって過去に創造主大戦争を引き起こした。今回も闇のエネルギーの影響で、第2評議会の中心的な創造主が闇に落ち、宇宙を混乱させ、アセンションを妨害し、私達にも大きなサイキック・アタックを行なった。</p>
第1評議会	<p>「源の創造主」をリーダーに「光彩の創造主」等が上の評議会から託された宇宙を具体的に運営する。また物理世界に生きる多くの存在達の成長を助け、宇宙連合へ迎え入れる。</p> <p>上位の評議会からの闇のエネルギーの影響で、第1評議会の創造主のリーダーである「創造主の独自性を育てる創造主」等、主だった創造主が闇の創造主となり大きな勢力を作り、光の創造主を圧倒していた。</p> <p>そのために地球を始め多くの宇宙に闇がはびこり、ダークピープルが宇宙を荒らしまわる事となった。</p>

物理的宇宙	宇宙連合によって生み出された宇宙、多くの銀河や星団に別れ独自に発展している。
	闇の創造主やダークピープルによって地球だけでなく多くの星々が闇が多い世界となり、人々の成長を阻害している。

PART 1 スターピープルの役割と組織

これから私達は宇宙連合と共に活動していく事になりますので、スターピープル達や創造主、宇宙連合の仕組みを皆さんにご紹介するところから始めたいと思います。

【スターピープル】

私達は、地球に住む地球人ですが、地球以外の星から来て地球に関わる地球外生命体達もたくさん存在しています。

彼等は、目的によって2つのグループに分かれます。

それは、地球人を成長させるために、人々をより良い方向へ導く善良な地球外生命体達（スターピープル）と地球を支配し地球人を自分達の思いのままに利用したいと考えている狡猾な地球外生命体達（ダークピープル）です。

良心的な地球外生命体達であるスターピープルは、天の川銀河の中でも、地球よりも早くアセンションを行い、宇宙のために活動している星々の人達の事です。

主にアンドロメダ座、シリウス、アルクツールス、プレアデイス星団の人々が、現在地球に関わっていますが、全て宇宙連合に属し、宇宙連合の計画と指示のもとに行動しています。

そして、各星固有のスターピープルとは別に、高度な叡智を持つ星々のメンバー達が集まって作られたアシュタールや銀河連合といったグループも存在しています。

彼等は常に、宇宙の進化のために下記のようにいくつかの役割を持って活動しています。

1 創造主をサポートして、宇宙を創造し運営する仕事。

2 創造された星々や星に住む種族が侵略されたり破壊的な状態になる事を防ぎ平和に保つ事。

3未だ十分に意識進化していない人々を導き成長させる事。

4ある程度の意識進化の段階になった人々をアセンションさせ、スターピープルに進化させる事。

彼等は、愛の度数や意識状態が高まるごとにアセンションを行ってさらに愛や叡智が高い状態へと移り変わっていきます。

アセンションが進むと、スターピープル達は物理的な体から半物理的な体に移り変わり、第6アセンションを超える頃には、ほとんどのスターピープルが物理的な体を失ってスピリット体へと変わっていきます。

宇宙連合でも肉体を持つスターピープルの多くが、第1評議会に属し、地球のように物理的な肉体を持つ種族や物理的な世界を持つ星々に直接関わる事ができます。

しかしアセンションが進み、完全に肉体を失うと特別な種族を除いて物理的な種族や世界に関わる事ができなくなりますので、宇宙の中でも他の役割を担う事になります。

それは、第1評議会や第2評議会のスターピープルのサポートや教育を行ったり、宇宙の平和を観察したりする事です。

更に成長したスターピープルになると、創造主と共に宇宙の創造を手助けする仕事を行うようになります。

それでは次に、どのようにして、通常生命体がスターピープルへと成長していくか説明しましょう。

スターピープルへの第1歩は、もともとその星に存在している生命体の中でも、これから叡智を持つ可能性があると思われる種族に、優秀なスターピープル達の遺伝子を組み込んで成長させる事です。

地球では、そのために選ばれたのが、類人猿と呼ばれる種族だったようです。

彼等は、意識が成長してくると村社会を作り、社会性や自我意識に目覚めてきます。

そして次の意識進化のための遺伝子操作を受けるまでに成長していきます。

やがて彼等は、長い期間をかけてスターピープル達から教育を受け、様々な技術や文化的な側面を成長させて文明を形成していきます。

スターピープル達は、彼等の社会にあまり介入する事なく、さまざまな機械技術や宇宙工学

などが発展するように、彼らの能力を高めていきます。

また、様々な技術のアイデアを、夢などを通して、人々に与え成長の手助けをします。

これもスターピープルになるためのトレーニングのひとつです。

そして人々が、ある一定の意識と愛の水準になったら、その星の種族にアセンションをおこなって、大きな意識進化をもたらします。

最初のアセンションを通してもたらされる進化とは、自分達の星以外にも素晴らしい叡智を持っている人々（スターピープル）が存在し、それらの人々が宇宙の進化と平和のために貢献している事を知る事です。

そのために、スターピープル達が人々の前に現われ彼等を直接指導する事が起こります。

私達地球人は、現在、この第1アセンションを迎える時期となっています。

アセンションを通して目覚めてきた人々は、スターピープル達と共に活動を始め、宇宙に貢献できるようになります。

そしてその貢献が認められると、やがてスターピープルの一員となり宇宙連合へと加入する事になります。

宇宙連合へは、第1アセンションを行うと加入できますが、この時期はスターピープル見習いとして、先輩のスターピープルと共に活動します。

やがて第1アセンションを終えた人々が更なる成長を遂げると、愛の度数も高まり第2アセンションを迎える事ができるようになります。

第1アセンションを迎えるためには、自分達の種族や叡智あるスターピープル達を愛し尊敬する事を学びますが、第2アセンションを迎える為には、自分達の種族だけでなく、未だ発達途上の種族も含め、この宇宙に存在する多くの種族達を平等に愛する事ができるようにならなくてはなりません。

なぜなら、第2アセンションを成し遂げたスターピープル達は、まだ十分な意識の成長を成し遂げていない種族の人々と単独で関わる事になるからです。

この時に高い愛の意識に達していないと、まだ十分に成長していない種族にたいして、彼等を尊重するのではなく彼等を自分達に服従させたり、自分達のやり方を押し付けたりしてしまい、彼等の意識の成長を妨げてしまうからです。

第1評議会のスターピープル達は、第6アセンションを達成すると第2評議会へと移ります

が、この時はすでに肉体としてではなくスピリット体として働く事になります。
そして、今まで培ってきた経験をもとに第1評議会のスターピープルを指導したり、創造主のお手伝いをする事になります。

【ダークピープル】

スターピープルにたいして、闇のエネルギーに飲み込まれて、自分達の欲望のために活動する種族を、ダークピープルと呼んでいます。

例えば、オリオン星人やアルクツールス星人のように同じ星の人々でも、進化の過程でアセンションを繰り返してスターピープルになる種族もいれば、ディセンションしてダークピープルになる種族もいます。

ダークピープルになる種族は、闇の創造主によって彼等の部下にされ、未発達な星の人々を、闇の創造主に従属させたり支配するために働かされる事が普通です。

彼等自身も本来は純粋な気持ちを持っているのですが、支配欲や攻撃欲などがかきたてられ、愛の心を失っていきます。

すると、彼等はどんどん欲に染まって、自分の意思で人々を攻撃し支配する事を好むようになり、ディセンションを繰り返す事となるのです。

ディセンションを繰り返すたびに、ダークピープルは闇の力を身に着け強力なパワーを持って未発達な種族を支配するようになります。

今迄の地球の歴史がそうでした。

争いや奪い合いが繰り返され、人々は人間としての尊厳を失い、殺されたり傷つけたりされてきました。

経済が発展している世界では、多くの人々が一部の裕福な人のための奴隷として無理やり働かされてきました。

そして科学技術が発展すると核兵器や原子力発電など人々や地球環境に大きなダメージを与える技術も作られ、地球の破壊へと人類は歩いていくのです。

私達のアセンションへの道のりは、まさにこの地球人を支配してきたダークピープルや彼等を操る闇の創造主との戦いでした。

現在は、今までの地球を、闇が多い地球と光が多い地球に分け、闇が多い地球は今までの地

球と同じく闇の創造主やダークピープル達が支配しますが、光が多い地球は、ダークピープルや闇の創造主はすべて排除され、スターピープル達が見守り、アセンションしていく人達を育てるための地球となっていくます。

本来アセンションは、その星にすむ種族達がすべて同じように意識進化していくのですが、この地球に関しては、1人1人の意識が多様化しており、愛の度数も精神の発達具合も全く異なりますので、全ての人と同じようにアセンションする事はできませんでした。

その大きな要因が、このダークピープルとどのように関わっているかという事でした。

同じ日本人でも、他人に優しくして貢献したいと考える人もいれば、他人をだましてもお金を儲けたいと考える人もいます。

また、自然災害などで困っている人を助けたいと考える人もいれば、自分の欲望のために他人を傷付けたり利用したりする事を平気で行う人もいます。

それらの事柄がすべてダークピープルのせいであるというわけではありませんが、彼等のエネルギーが大きく関わっている事は確かです。

ダークピープル達は、スターピープル達が地球人に関わる事で、地球人が目覚めアセンションしていく事を大変嫌い、常に私達の妨害をしてきました。

それは、1人でも多くの地球人を欲望の虜にしてディセンションさせ、自分達の支配下に置いて利用していたいからです。

人々はその事に気づかず、自分達の欲望のままに生きていくと、争いや支配欲に満ちた世界から抜け出す事ができなくなります。

そして、自らもディセンションしてしまうのです。

私達は、地球の人々が1人でも多くアセンションしてスターピープルになれるように、ダークピープル達を処理したり、地球人に大きな影響を与えている闇の創造主達を光に返してきました。

彼等に捕えられている皆さんのスピリットの一部も開放して、地球の人々がスピリットの統合を果たし、自分が本来持っている「愛」のエネルギーに目覚める事ができるように努力してきましたが、人々が自ら、自分が持っている愛に気づき、自分のスピリットを受け入れる事ができなければ、その人は何も変わる事はできません。

地球は2019年の末までに大きく分離されていきますので、それまでに光が多い地球へと

入って頂き、スターピープルへの道を歩んでいただきたいと思います。

PART 2 創造主の目的と区分について

地球では、創造主というのは唯一万能な存在であり、過ちなどを犯すはずはない存在とされています。

また愛に満ち、多くの人を慈悲の心で助けてくれる存在だと思われていますし、私もそう思い続けてきました。

しかし、私達はアセンションを進めるにつれて様々な創造主に会いました。

そして分かった事は、創造主は唯一無二の存在ではなく、役目や階級に応じて無数に存在しているのだという事です。

そして全ての創造主が、万能であり過ちを犯すはずがないという考え方は大きく間違えているという事です。

もちろん、私があった創造主の中にもその様な尊敬すべき創造主はいましたが、本当に僅かでした。

創造主の中には、自分の欲望やエゴに負けてしまい、この宇宙を自分が好きなようにしたいと考え、自分の部下にあたる創造主やスターピープル達を利用して、地球人や多くの星の人々を支配しようとする創造主達もたくさんいたのです。

もし、全ての創造主が、愛と慈悲に満ちていたなら、この地球のように戦争や侵略、あるいは殺人や暴力、経済的な抑圧や自然破壊などは決して起こらなかったでしょう。

創造主自身が暴力と支配を好むからこそ、地球のような闇が深い世界が生まれてきたのです。ギリシア神話に出てくる最高の神であるゼウス神も自分の欲望の赴くままに、女性達をさらいたくさんの子供を生み落させました。

もちろんこれは神話ですが、ゼウスと同じように自分達が作った宇宙は自分達が自由勝手に扱ってもよいと考える創造主達が、実はたくさん存在しているのです。

ではなぜ、その様な存在が創造主としてこの宇宙に君臨しているかという事をお話ししましょう。

それは簡単な答えです。

創造主から宇宙の創造と運営をするために作られた存在だから創造主なのです。
創造主は肉体を持ちませんので、誰かの体から生まれて成長していくわけではありません。
上位の創造主から目的に応じて、自分の光を分けて作られます。
高次の光には意識や能力が伴いますので、光を分かち与えられて生まれた創造主は、生みだしてくれた創造主の能力と資質の一部を持つ事になります。
その資質と能力を使用して、上位の創造主の指示のもとに宇宙の創造や運営を行い、与えられた任務を果たします。

生みだされた創造主は、自分を生みだしてくれた創造主には絶対に逆らう事はできません。
逆らった場合には、自分の元となった創造主の光のもとに返される事となります。
私のPDFブックをお読みの方はお分かりかと思いますが、私は、問題がある創造主に対処する場合には、必ずその創造主を生みだした創造主か一つ上の創造主にあらかじめ相談して処理を行なう了承を取り付けます。
そして問題がある創造主を問い詰め、問題がある創造主が自分の罪を認めるか、その創造主を生みだした創造主が、更生の余地がないと認めた場合には、上位の創造主の判断によって、問題を起こした創造主を光に返す事ができるのです。

私は、多くの創造主が行ってきた事を調べる為に、地球の物理次元に生まれ、2013年から6年をかけて一つ一つ宇宙の次元を上がり、下の階級の創造主から宇宙を創造する役目を持つ創造主の位置にまでたどり着きました。
そして、1人1人の創造主の働きを見ながら問題がないかを調べてきたのです。
問題がある創造主は、私達の活動や地球のアセンションに対して大きな妨害を働いてきます。
すぐには分からなくても、一緒に行動しているうちに、私達を裏切るような行為をしたり、闇の創造主の命令をうけて私達を罠にかけようとしています。

何故地球人の私が、創造主の世界に入り、創造主の問題を明らかにして創造主を光に返す事ができるか不思議でしたが、地球のアセンションが進むにつれて、高次元の創造主が、多くの創造主の墮落にすでに気づいていたために、私を地球に降ろし、創造主が犯している罪を調べ上げる役目を私に与えたという事が分かってきました。

地球のアセンションは、地球に住む人々にとっては、自分達の意識を高め、スターピープルになるための第1歩ですが、高次元の創造主にとってみれば、墮落した創造主や闇に落ちた創造主を探し出し、彼等を光に返す事で、まともな創造主だけが残る宇宙を創るための壮大

な計画があったようです。

次に創造主のレベルについて大きくご紹介しますが、レベルに関しては、私が簡易的に区分けしたものです。

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界で

す。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。

第1評議会の中心的な創造主達になります。

リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピューターを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。

この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。

彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。

○宇宙連合の評議会について

宇宙連合は、私達の天の川銀河やアンドロメダ銀河だけでなく多くの星団や星雲が含まれる宇宙をいくつも束ねた大宇宙を見守るグループです。

私達は、宇宙の本当の姿を未だ知りませんが、私達にとって観測可能な宇宙をユニバースと呼ぶのなら、そのユニバースの中に存在している創造主やスターピープル達の連合と考えてもよいと思います。

しかしこのユニバースの中にも計り知れない銀河が存在しているのも事実です。

また、私が語る話はスピリチュアル・レベルの話ですので、実際の天文学の話とはかなり異なるという事だけをご理解ください。

先ず宇宙連合は、宇宙を創造し運営する創造主達とその仕事をサポートするスターピープル達の集まりです。

創造主やスターピープルの能力や資質、そしてその働きによって異なる階層の評議会に別れて活動しています。

その階層のリーダー的な創造主達とスターピープル達によって評議会の会議が行われ、自分達の行動が決定されます。

第1評議会は、宇宙連合では一番下の評議会として、物理的な宇宙の運営に当たります。

第1評議会は、創造主もスターピープルも最も数が多く、その役目も多岐にわたります。この評議会に属するスターピープル達は、物理的もしくは半物理的な体を持つスターピープル達ですので、地球を始め物理的な世界を持つ他の星々にも関わる事ができます。そして、地球人も含めて、まだ十分に成長していない人々に対して、意識進化のための様々な取り組みを行います。

宇宙連合の第1評議会は、物理世界を持つ多くの銀河や星団に関わり、その銀河や星団、もしくは星々の平和を守るための活動を行います。

第1評議会の中には、アシュタール連合のように独自のグループを作って活動している者達もいますが、彼等も第1評議会の指示のもとに動いています。

また第1評議会は、スターピープルの説明のところでご紹介したように、未発達な星々の種族を成長させスターピープルへと導く仕事も行っています。

この宇宙の中で一つでも多くの種族が愛と叡智に目覚めて宇宙の平和のために貢献できるようにする事が第1評議会の目的でもあります。

第2評議会と第3評議会は、スピリチュアルな宇宙と物理的な宇宙の創造に当たります。

もちろん物理的な宇宙に関しては、第1評議会が中心となって創造活動を行うようですが、第1評議会を指導し、より良い宇宙を創る事が彼等の仕事でもあります。

しかしながら、これからのレポートでもご紹介するように、第4評議会に属する創造主が闇に落ちてしまった事で、第3評議会、第2評議会の創造主達も大きな闇に巻き込まれる事になりました。

その結果、第3評議会のほとんどのスターピープル達が闇の世界に閉じ込められ、第3評議会の仕事が順調におこなわれていないという事態に陥っていました。

第4評議会は、スピリチュアル・レベルの宇宙の創造を行い、物理的な宇宙のひな型を作り出していきます。

この第4評議会の創造主は、自分が創造する宇宙の全てを任されているので、自分の考えだ

けで独自の宇宙を作り出す事ができます。

第5評議会から上の評議会は、物理的な宇宙の創造には関わりませんが、創造主達を指導したり、下の階級の創造主が作り出した宇宙を検査する役目を持つ創造主達の世界です。

第5評議会の創造主達は、宇宙創造に必要なエネルギーを、第4評議会の創造主達に供給します。

第4評議会の創造主が闇に落ち地球の支配を計画している事が分かったと、他の評議会の創造主やスターピープル達では対応できないので、彼等が中心になって地球の物理世界を調べ、この創造主達を処理する役目を担ってくれました。

	スターピープルの特質
第5評議会以上	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。
第4評議会	創造主達が宇宙を創造するために必要なエネルギーや技術を提供するための特別な能力を持つスターピープル達が存在している。 ネターシャ達の種族
第3評議会	第10アセンション以上のスターピープル達。 グルナレッドやミスト星人等。宇宙のエネルギーの適正化を行ったり、宇宙の健全な運営を担うための働きをする。 グルナレッド達の種族
第2評議会	第5アセンションから第10アセンションのスターピープル達。 ロッド星人やエリシタールなどが属し、第1評議会のスターピープルを助けて、叡智ある存在の成長を手伝う。
第1評議会	第1アセンションから第5アセンションまでのスターピープル達。アシュタール連合や様々な星のスターピープルによって構成され、宇宙の平和と成長を守り各星の人々の意識進化を手助けする。
物理的宇宙	スターピープルとダークピープルが存在。アセンション前の存在達は宇宙連合には入れない。

○光りの世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に依拠していくつもの地球に分かれている事をお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

地球の光と闇の割合は、およそ光40%、闇60%、現在はもう少し光の割合が多い世界のようなようです。

この割合の世界では、闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなりますが、まだ学びが必要な人には、その学びにふさわしい事が起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つける事ではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなく意思疎通ができるようになりますので、嘘を言ったり心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切な事は、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

生きている人では70%台が最高クラスになるようです。

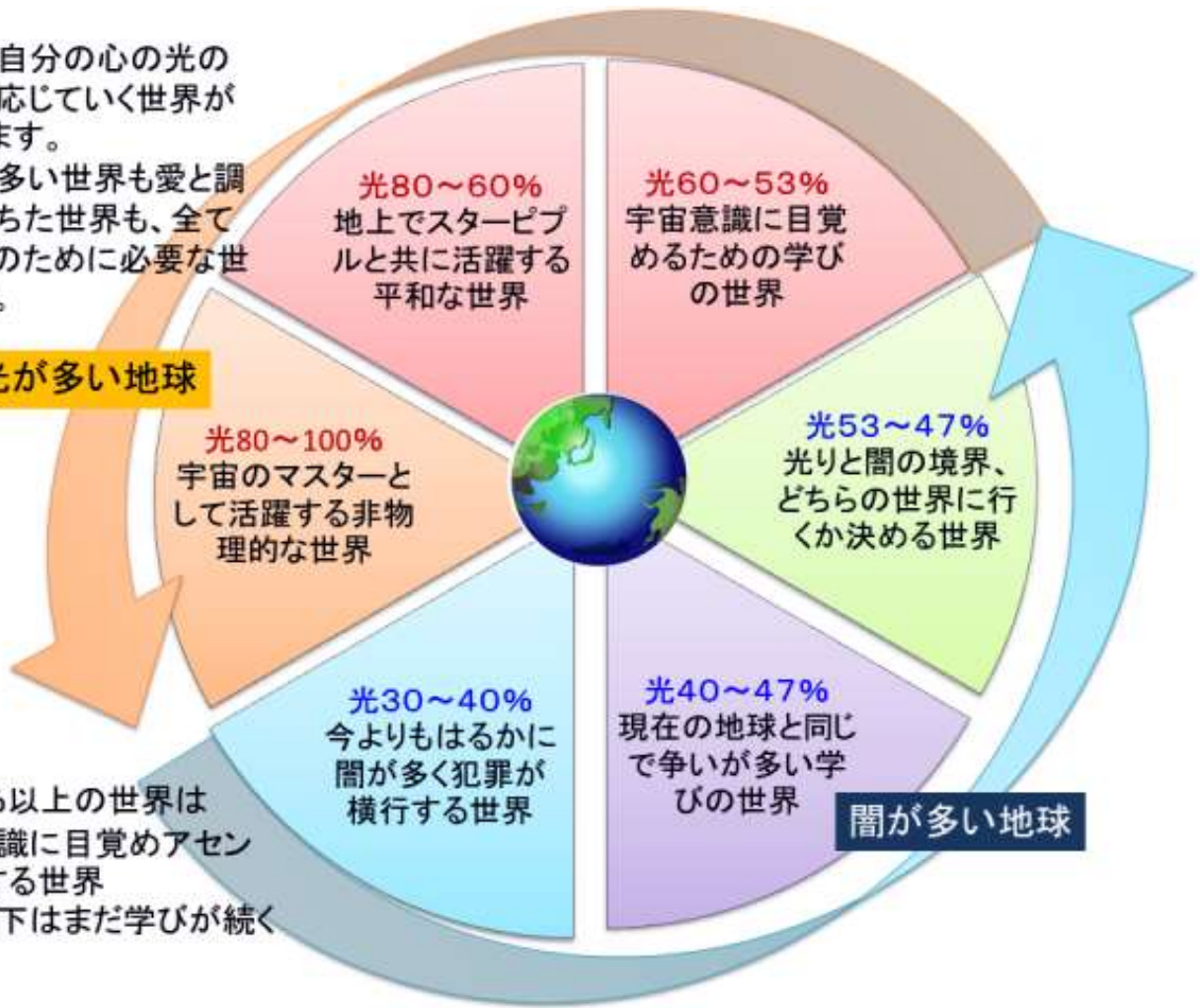
更に光りの割合が80%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、宇宙の運営に関わる仕事を始める事でしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこの事は、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。

人間は自分の心の光の状態に応じていく世界が決まります。
 学びが多い世界も愛と調和に満ちた世界も、全てあなたのために必要な世界です。

光が多い地球



光50%以上の世界は宇宙意識に目覚めアセンションする世界
 50%以下はまだ学びが続く世界

闇が多い地球

<p>光90%台の世界 宇宙のマスターの世界</p>	<p>宇宙の管理者として働くスピリチュアルな存在達の世界。 憎しみや争いなどとは無縁で愛と調和のみが存在する世界。 また宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 自らが愛と光りになるために学びを行うスピリット達の世界。</p>
<p>光80%台の世界 宇宙と地球に生きるマスターの世界</p>	<p>宇宙のために働くスピリチュアルな領域に生きる人々。 自らもスターピープルとなり、宇宙の中にある様々な問題の解決のために働く事を喜びとしているスピリット達。 ここに入る人は、宇宙で起きている事を深く理解し、常に真実を求め努力してきた人。 地球においては、地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、</p>

	<p>地球と地球に生きうる人々を自由で平和な者にするために常に努力してきた人々。</p> <p>この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人達。</p>
<p>光70%台の世界</p> <p>物理的な光の地球での指導者の世界</p>	<p>光80%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う人々。</p> <p>またスターピープルの事を深く知り、彼らと共に働ける人。</p> <p>自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p> <p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。</p> <p>現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人達が光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。</p> <p>60%台の世界の学びを終えてからこの世界に来る事が多いようです。</p>
<p>光60%台の世界</p> <p>地球では光の世界として新しく生まれた世界。</p> <p>宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>60%台の後半の人は・・・</p> <p>常に正義と愛のために生きてきた人。</p> <p>欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。</p> <p>スターピープルの事を理解し上手に付き合う事ができる人</p> <p>この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、肉体をもって学びを行う人達が入る世界。</p> <p>少数民族の人達の仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。</p> <p>ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>60%前半の人は・・・</p> <p>光の世界にはいる為の教育が行われる世界。</p> <p>地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを</p>

	<p>続ける人。</p> <p>しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分に実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。</p> <p>周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープルの事もよく知らない人達が、学びを行うための場所。</p> <p>この世界では争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。</p>
<p>光 56% ~ 59%の世界</p> <p>光が多い学びの世界</p>	<p>この世界からアセンションした世界としてスターピープル達により保護される世界になります。</p> <p>今の地球よりはさらに光がある世界で、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、愛と調和に満ち、自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく世界となるでしょう。</p> <p>この世界に行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えてきた人達です。</p> <p>そして、地球人としての進化を望む人がこの世界に入り、光の世界へ入るための学びを行います。</p> <p>この世界の学びは「愛の実践」です。</p> <p>宇宙の愛を身につけ、人のために奉仕する事がこの世界の学びとなります。</p> <p>この世界で学びを終わった人は、本格的なアセンションの世界である光60%以上の世界に生まれ変わります。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争う事が好きな人は入れません。</p> <p>人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れません。</p>
<p>光 47% ~ 55%の世界</p> <p>光と闇の境界の世界</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。</p> <p>現在の地球よりは、光が強くなりますので、戦争や虐待などはすこしずつ減ります。</p> <p>時間がたつにつれ、現在よりはまともな政治家や経済人が現れ、社会の変革も進むでしょう。</p>

	<p>この世界にはいる人は、戦争や支配、抑圧のある世界を嫌っている人で、もっと愛に満ちた世界、調和のある世界に入りたいと考えている人達です。</p> <p>また他人のために役に達たいと思い行動している人や他人に親切にする事が好きな人達がこの世界に入ってきます。</p> <p>ただしこの世界には、狡猾な地球外存在達もすでに入り込んでいるので社会の混乱や自然災害も起こりますので、その様な事を乗り越えていく事が、この世界の人々の学びとなります。</p> <p>ヒーリングやスピリチュアルな仕事をしている人でも、人々の幸福のために働いている人は、この世界に入りますが、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行く事になります。</p>
<p>光40%～47%の世界 現在の地球と同じ学びの世界</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験する事になります。</p> <p>現状の世界を好みお金儲けやぜいたくな生活をしたい人達、人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人達は、この世界にそのまま残るようです。</p> <p>他人を支配をしようと思う人、他人に依存したり、他人支配される事を好む人もこの世界にとどまります。</p> <p>この世界は多くの地球外生命体達も存在しますので、彼等の支配をうけず自立していく事が、この世界の学びとなるでしょう。</p>
<p>光30%台の世界 闇が多い学びの世界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。</p> <p>戦争やテロが多発し、多くの人が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送る事になるでしょう。</p>

	<p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つ事になると思います。</p> <p>この世界には、多くの欲望に取り付かれ、他人を支配したり傷つける事を好んで行ってきた人達がいる世界になると思います。</p>
--	---